



令和6年度指定管理業務 事業報告書

令和7年5月15日

浜松科学館指定管理者
乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体

目次

I 指定管理施設の概要	
1. 施設概要	1
2. 指定管理者事業	1
(1) 指定管理者	1
(2) 指定管理期間	1
(3) 組織	1
(4) 浜松科学館運営委員会	2
(5) 共同事業体による運営支援体制	2
(6) 常設展示更新事業	3
II 施設の利用状況	5
1. 年間実績	5
2. 施設利用者状況	5
(1) 利用者数実績	5
(2) 入場者数実績	5
3. 利用者目標と達成状況	6
4. 利用料金と収入状況	6
(1) 科学館利用料金	6
(2) 利用料金収入実績	7
(3) その他の利用料金	7
III 科学館事業	9
1. 展示運営	9
2. 特別展・企画展・特別イベント	10
3. 展示体験プログラム・支援ツール	11
(1) 展示ストーリーブック	11
(2) 学習活用ワークシート	12
(3) 科学学習情報システム	12
4. 参加型学習	13
5. 特別プログラム「夜の科学館」	14
6. プラネタリウム	14
(1) 投映スケジュール	14
(2) 投映番組	15
7. アテンダント	17
8. 連携協力事業	18
(1) 学校等との連携	18
(2) 教育関係機関等との連携	22
(3) その他（研究機関や科学館との連携事業等）	24
9. サポーター会員制度	27
10. ボランティア活動支援	28
11. 調査・研究および収集・保存	31
12. パブリックリレーションズ	32
13. 視察・調査	34

IV 維持管理業務	35
1. 科学館の維持保全業務	35
2. 特殊機材・展示物等保守管理業務	36
3. 什器・備品等保守管理業務	36
4. 清掃・警備・防災関係業務	37
(1) 清掃業務	37
(2) 警備業務	37
(3) 防災関係業務	37
(4) 安全管理	38
5. 修繕工事に関する業務	39
6. 事故・苦情等の対応状況	39
V 施設貸出	40
(1) 業務概要	40
(2) 貸室料金等	40
(3) 貸出実績	40
VI 収支報告	41
1. 収入	41
2. 支出	41
VII 自主事業	42
1. 必須の自主事業	42
(1) ミュージアムショップ	42
(2) カフェ	43
(3) 自動販売機	44
2. 任意の自主事業	44
(1) キッチンカーのフードサービス	44
(2) プリントシール機の設定	45
(3) 賑わい創出のマルシェ	45
(4) プラネタリウム特別投映	46
3. 自主事業の収支	47
VIII 資料	48
1. 2024 年度科学館入館観覧者状況	49
2. 2024 年度イベント・講座実施状況	50
3. 利用者アンケート	54
4. メディア取材等一覧表	55
IX 指定管理者による自己評価	57

I 指定管理施設の概要

1. 施設概要

施設名称	浜松科学館（愛称 みらいーら）
施設住所	静岡県浜松市中央区北寺島町 256 番地の 3
敷地面積	9,911.47 ㎡（サイエンスパーク 3,020 ㎡、自然観察園 1,742 ㎡）
建築面積	3,373.95 ㎡
延床面積	6,891.95 ㎡
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 4 階建
竣工	昭和 61 年（1986 年）4 月
展示更新	令和元年（2019 年）7 月 1 日（全面リニューアル） 令和 7 年（2025 年）3 月 20 日（一部リニューアル）

2. 指定管理者事業

（1）指定管理者 乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体

指定管理者 1（代表企業）

所在地 東京都港区台場二丁目 3 番 4 号
 名称 株式会社乃村工藝社
 代表者 代表取締役 社長執行役員 奥本 清孝

指定管理者 2（構成員）

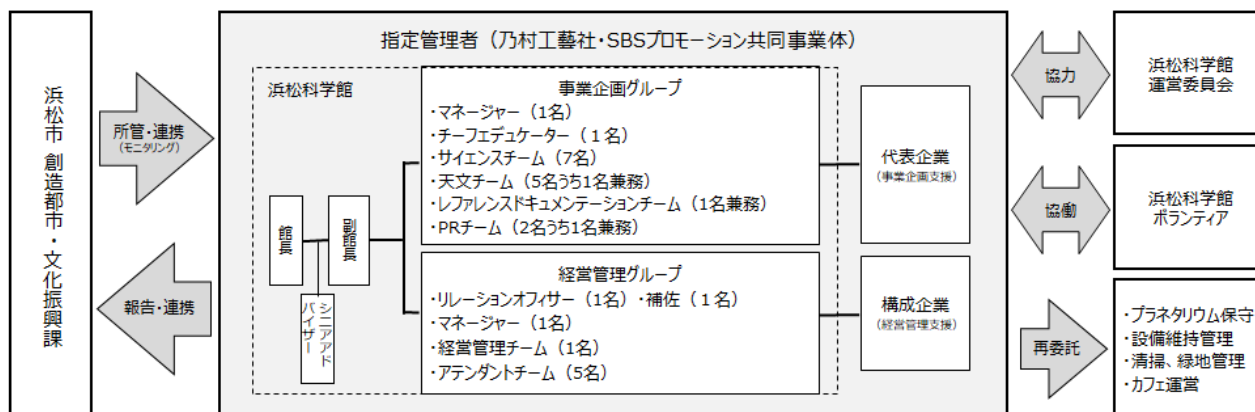
所在地 静岡県静岡市駿河区森下町 1 番 35 号
 名称 株式会社 SBS プロモーション
 代表者 代表取締役社長 小澤 誠

（2）指定管理期間 2019 年 7 月 1 日～2029 年 3 月 31 日

（3）組織 名誉館長 天野 浩・名古屋大学教授

館長 小田木 基行

（以下、常勤職員 25 人。下図は 2025 年 3 月 31 日現在）



(4) 浜松科学館運営委員会

科学館事業への助言および協力、評価等を目的に、学識経験者等で構成する浜松科学館運営委員会を開催しました。スタッフとも率直な意見交換を行い、事業価値を高めるためのさまざまなアイデアや考え方を話し合う機会となっています。

名 称	日時及び場所	内 容
浜松科学館運営委員会	7月9日(火) 10:00～12:30 浜松科学館1階セミナールーム	(1)令和5年度事業報告及令和6年度事業計画 各チームリーダーの活動実績報告 (2)常設展示更新事業 展示リニューアル実施設計書 (第一期)(案)の概要説明 (3)意見交換 等
	2025年2月18日(火) 13:00～16:00 浜松科学館1階セミナールーム 常設展示室内	(1)浜松科学館第3次中期計画説明 (2)令和7年度事業計画 (3)常設展示更新事業 展示リニューアル(第一期) 進捗状況報告 (4)意見交換 等

委員名簿（順不同、敬称略）

氏 名	所 属	専 門（役員）
上野 征洋	静岡文化芸術大学 名誉教授	メディア論（委員長）
遊橋 裕泰	静岡大学情報学部 教授	ICT 研究（副委員長）
村井 良子	(有)プランニング・ラボ代表（ミュージアム・プランナー）	博物館経営
嶋野 聡	浜松市 市民部 文化振興担当部長	行政
深津 正樹	浜松商工会議所 会員支援部 人材支援課長	産業界

(5) 共同事業体による運営支援体制

浜松科学館指定管理者である乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体構成員は、連帯して指定管理業務に責任を負うとともに、必要な経営資源（人材・業務インフラ・資金・情報）を供給します。また、各社の得意分野や専門性を活かして運営をバックアップします。さらに、共同事業体の各企業が管理運営する類似施設や静岡県内の文化施設との人的交流と事業の連携を進める環境をつくることで、運営ノウハウの共有や、スタッフ個々人の専門能力の向上を図っています。

共同事業体代表企業の乃村工藝社は、国内の主要科学館における展示の設計・製作及び施設の管理・運営実績を数多く有しており、蓄積された民間ノウハウと全国的なネットワークを活用することで浜松科学館の運営を支援します。一方、SBS プロモーションは、自社メディアを活用した効果的な広報・プロモーション活動を進めるとともに、サポーター制度等を通じて企業、学校・大学との幅広いネットワークを形成し、地域の共創と魅力的な科学館づくりに寄与しています。（別添資料参照）

(6) 常設展示更新事業

浜松科学館では、2019年のリニューアルから5年目にあたる2024年度と7年目にあたる2026年度に常設展示の一部を更新することが計画されています。展示更新は、最新の科学的知見や科学技術の新たな動向を取り入れ、常設展示の魅力を高め、施設価値向上を目的に実施します。（参照：事業スキーム）また、当館の設置者、運営スタッフによる分野横断的なメンバー構成でプロジェクトチーム（PT）を結成し、展示更新業務の実行体制を整えました。2024年度は各協力者とともに実施設計図書の制作・提出および施工を行い、2025年3月20日に第一期のリニューアルオープンをしました。「自由に楽しみ、“面白そう”があふれる広場」をビジョンに、更新箇所を中心として幅広くさまざまな利用がされる科学館を目指します。

① 事業スキーム

名称	常設展示更新事業（浜松科学館 展示リニューアル 2024/2026）
事業期間	2024年度（第1期）、2026年度（第2期）
事業予算	第1期 48,999,500円、第2期 50,000,500円（いずれも消費税込金額） 協定書第31条第4項及び第5項の規定に基づき、展示更新に関する指定管理料として浜松市が指定管理者に支払う。
事業スキーム	1 事業形態 DBO協定書に基づく指定管理業務の期間内事業として実施 2 目的 「各科学分野の進展や最新の科学的知見、展示協力企業の持つ科学技術の状況を鑑み、指定管理期間を通じて常設展示数の1割程度（企業協力展示を除く）を目安に計画的に更新していくものとする。」（運営業務に関する要求水準書40頁 抜粋）

② プロジェクトチーム（PT）

構成メンバー	内容等
浜松科学館 チーフエディケーター	令和5年度に引き続きPTで定例会議を行い、合同会社辻琢磨建築企画事務所とともに具体的な設計に取り組みました。5・6月には非営利活動法人Collable協力のもと、市内在住のリードユーザー4名をお呼びして「インクルーシブデザインワークショップ」を実施し、更新目標の一つに掲げる「DE&I」を叶える場づくりについて全職員で考えました。7月の運営委員会での審議を経て8月に実施設計図書を提出後、10月から2月まで館内工事と展示製作を開始。施工・製作では、中村建設株式会社、株式会社大和工芸、日管株式会社、株式会社森本電気工業社、デコラテックジャパン株式会社など、浜松を拠点とする企業に依頼しました。また、「へんてこ楽器」の設計・制作では「ファブラボ浜松/テイクスペース」に協力いただきました。3月20日のリニューアルオープン時には、浜松市長、市議会議長をはじめ、議員、関係者等計44名出席のもと、リニューアルオープン記念セレモニーと内覧会を実施しました。
浜松科学館 サイエンスチームリーダー	
浜松科学館 天文チーム副リーダー	
浜松科学館 アテンダントチームリーダー	
浜松科学館 リレーションオフィサー	
浜松科学館 経営管理グループマネージャー（RDチームリーダー兼務）	
浜松科学館 事業企画グループマネージャー（PRチームリーダー兼務）	
浜松科学館 副館長	
株式会社乃村工藝社（本社）	
浜松市 市民部 創造都市・文化振興課 生涯学習推進グループ長	
浜松市 市民部 創造都市・文化振興課 生涯学習推進グループ主任	

③ 第1期更新 概要

項目	内容
更新箇所	・1 F：授乳室の新設、現行授乳室のボランティアルームへの変更 ・M2F：みらいーらステージのバックヤード増設、水道設備追加 ・2 F：「みらいーらルーム」、「ワゴン」の新設、「へんてこ楽器」の新設、授乳室の新設 ・一部展示の撤去・移設 ・館内サインの見直し、追加
設計協力	合同会社辻琢磨建築企画事務所（浜松市浜名区）
その他協力	・特定非営利活動法人 Collable（東京都文京区） ・Fab Lab 浜松（浜松市中央区） ・株式会社ナイン（焼津市）
オープン日	2025 年 3 月 20 日

④ リニューアル広報 概要

媒 体	項 目	仕 様	掲載日・使用開始日
オウンドメディア	COMPASS	A4／8P巻三+表紙（26号）	2025年2月下旬 発行
		A4／4P二折り（25号）	2024年12月上旬 発行
		A4／6P巻三つ折り（24号）	2024年9月下旬 発行
	ティザーポスター	500部	2025年 1 月下旬 発行
	ティザーフライヤー	5,000部	2025年 2 月下旬 発行
	リニューアル ポスター	500部	2025年2月下旬 発行
	リニューアルフライヤー	10,000部	2025年2月下旬 発行
媒体	広報はままつ	イベント情報枠に掲載	2025年 2 月号、3 月号
	eらっこ（2号掲載）	広告枠に掲載	2025年2月21日、3月21日 発行
	静岡新聞びぶれ 3/20発行号	巻頭特集	2025年3月20日 発行
	遠鉄キッズクラブメールマガジン		2025年3月21日 発行
	中日ショッパークラシック（2号掲載）	広告枠に掲載	2025年2月13日、3月13日 発行
館外掲示	杏林堂サイネージ	浜松市内 1 1 店舗	2025年3月9日～4月5日
	イオンモール浜松志都呂 サイネージ CM放送	館内12カ所	2025年3月9日～4月5日
	イオンモール市野 授乳室 B 2 ポスター掲出	館内2カ所	2025年3月20日～4月11日
	JR浜松駅 メイワンビジョン	浜松駅構内 70インチ 14面	2025年3月1日～3月31日
	新浜松駅 ポスター	4週間 B1サイズ 2枚	2025年3月20日～4月16日
制作	PRムービー制作	→各種メディアへ転用	
イベント	三遠ネオフェニックスイベント(12月14日)		2024年12月14日 開催
	イオン志都呂 PRイベント	3 Fフロアにて	2025年2月9日 開催

Ⅱ 施設の利用状況

1. 年間実績（2024年4月1日～2025年3月31日）

開館日数	312日
休館日数	53日（うち8日は保守点検、1日は台風の影響による臨時休館）
開館時間	9：30～17：00
	・夏季開館時間延長 9：30～18：00（7月20日～8月31日）
	・その他イベント等で適宜、開館時間を延長
	・施設貸出 9：30～21：30

2. 施設利用者状況

(1) 利用者数実績

利用者数総数		214,231人
常設展示入場者・プラネタリウム観覧者数		172,722人
		80.6%
特別展・企画展入場者数		19,863人
		9.3%
講座・イベント参加者数		16,966人
		7.9%
施設貸出（ホール・セミナールーム）利用者数		4,680人
		2.2%

(2) 入場者数実績

常設展示入場者数： 172,722人			
年齢別	大人	中人	小人
	82,940人	2,509人	87,273人
	48.0%	1.5%	50.5%
種 別	個人		団体
	155,161人		17,561人
	89.8%		10.2%
学校団体等利用状況： 17,561人			
幼稚園・保育園	小学校	中学校	その他
136園	135校	21校	106団体
5,227人	8,468人	546人	3,320人
29.8%	48.2%	3.1%	18.9%

3. 利用者目標と達成状況

2024 年は、常設展示更新事業（第 1 期）を進め、年度末（3 月）のリニューアルオープンに焦点を合わせた利用者目標としました。3 月には春の特別展「東海道新幹線ずかん」の実施と合わせて、戦略的な広報 PR を展開して認知度を高め、集客効果をより高められました。全体では目標を 1.6% 上回り堅調でしたが、前年度比 1,493 人の減となり、大人及び中人は微増であったのに対し、小人が 1,553 人減でした。夏季の記録的な猛暑で、冷房の効いた屋内施設で過ごす需要が高まり、6 月—9 月期に利用者が増加した半面、8 月には南海トラフ地震臨時情報による外出減と、台風 10 号の大雨による交通障害で、単月の目標を 8,181 人下回る結果となりました。

2022 年 3 月にリニューアルしたプラネタリウム事業では、3 年が経過して観覧者数減の傾向が徐々に表れてきています（23 年度比▲2,010 人・2.5%減）。星空の美しさや宇宙の精緻な映像を最大限に生かすことのできる生解説をより充実させ、解説員の個性を前面に出してコンテンツの多様な魅力をアピールしていくこととします。

月	常設展入場者数（人）				プラネ・大型映像観覧者数（人）			
	目標	構成比	実績	達成率	目標	構成比	実績	達成率
4月	12,000	6.9%	10,930	91.1%	6,600	6.7%	5,042	76.4%
5月	12,000	7.3%	11,134	92.8%	6,600	6.7%	5,235	79.3%
6月	10,000	6.0%	13,716	137.2%	5,500	4.4%	6,226	113.2%
7月	17,000	9.9%	18,538	109.0%	9,400	8.9%	9,879	105.1%
8月	38,000	19.8%	29,819	78.5%	21,000	17.8%	16,371	78.0%
9月	13,000	6.9%	14,399	110.8%	7,100	6.7%	6,785	95.6%
10月	12,000	6.9%	10,610	88.4%	6,600	4.4%	4,870	73.8%
11月	11,000	6.0%	11,110	101.0%	6,000	4.4%	4,148	69.1%
12月	10,000	6.9%	9,097	91.0%	5,500	8.9%	4,560	82.9%
1月	10,000	7.8%	8,633	86.3%	5,500	8.9%	3,806	69.2%
2月	10,000	6.9%	12,209	122.1%	5,500	8.9%	4,988	90.7%
3月	15,000	8.6%	22,527	150.2%	8,200	13.3%	7,933	96.7%
合計	170,000	100.0%	172,722	101.6%	93,500	100.0%	79,843	85.4%

4. 利用料金と収入状況

（1）科学館利用料金

区 分		常設展入場料			常設展入場料＋プラネタリウム 1 回分観覧料 (大型映像 1 回分観覧料)		
		大人	中人 (高校生)	小人 (中学生以下)	大人	中人 (高校生)	小人 (中学生以下)
通常料金		600 円	300 円	無料	1,100 円	550 円	無料
団体 料金	浜松市 湖西市	420 円	210 円	無料	770 円	380 円	無料
	その他地域	540 円	270 円	無料	990 円	490 円	無料

浜松科学館条例（昭和 61 年条例第 30 号）に基づき、利用料金を以下の通りに設定しています。利用料金制度（地方自治法第 244 条の 2 第 8 項・第 9 項）によって、利用料金は指定管理者の収入として収受し、管理運営業務経費等に充当されています。

※70 歳以上の方は、入場料および観覧料が無料となります。

（２）利用料金収入実績（科学館入場料、プラネタリウム観覧料）

※後納分の共済組合助成券、クーポン券（わーくん、とらいあんぐる磐田）の利用料金は本表に含みません。（別表参照）

区 分		利用料金
個人	常設展	22,014,900円
	常設展＋プラネタリウム・大型映像	30,302,000円
	観覧券	1,351,000円
	割引	-275,040円
	A 個人総合	53,392,860円
団体	常設展	154,740円
	常設展＋プラネタリウム・大型映像	370,310円
	B 団体総合	525,050円
個人・団体合計（A＋B）		53,917,910円

（別表）

区 分	利用人数	利用料金
共済組合助成券（後納分）	1,695人	1,146,700円
クーポン券：わーくん（後納分）	364人	109,200円
クーポン券：とらいあんぐる磐田（後納分）	34人	10,200円
合 計	2,093人	1,266,100円

（３）その他の利用料金

① 年間パスポート

科学への興味関心を深め、コアな利用者を育成するため、繰返し利用（リピート利用）を促す年間パスポートを発行しました。常設展入場に適用できます。

項 目		購入者数	料 金	科学館入場者数	1人当たり利用回数
購入者・利用者数	大 人	1,140人	1,710,000円	5,479人	4.8 回
	中 人	6人	4,500円	48人	8.0 回
	合 計	1,146人	1,714,500円	5,527人	4.8 回

② 企画展・特別展・特別イベント

開催規模や内容に応じて利用料金を設定します。2024 年度は、夏の特別展「しかけ絵本でサイエンス!」、秋の企画展「科学の学園祭 2024」、冬の企画展「みんなで熱中! ものづくり 2024」、特別イベント「さがしてためてみらいーら 3」、春の特別展：東海道新幹線 60 周年企画「東海道新幹線ずかん」を開催しました。企画展、春の特別展は大人・中人・小人ともに常設展チケットで入場可、夏の特別展は有料（2 歳以下は無料）としました。

・特別イベント

「さがしてためてみらいーら 3」参加費として冊子 1 冊につき 100 円を設定

開催期間	事業名	参加人数	参加費
4 月 1 日～3 月 31 日（313 日）	さがしてためてみらいーら 3	3,866 人	386,600 円

③ その他の料金

催しの実施に際して、材料費等の実費相当額については、利用者から受益者負担分をいただきました。

区分	利用者数	金額
ミニワークショップ等参加者数・料金	14,770 人	2,801,700 円
みらいーらカード発行数・料金	470 人	141,000 円
貸出端末利用者・料金	1 人	200 円
合計	15,241 人	2,942,900 円

Ⅲ 科学館事業

1. 展示運営

常設展示アイテム 95 点と屋外展示、自然観察園が常時良好な状態で利用できるよう管理するとともに、サービス価値を高めるためのさまざまな体験プログラム、学習ツール等を用意して多角的な展示運営事業を展開しました。

フロア	点数	ゾーニング	アイテム			ワゴン
1 階	12点	自然ゾーン	浜松のすがた アクティブ・リサーチ・デスク デジタルスコープで見る 顕微鏡で見る でんけんラボ	いきもの色覚 センサーでとらえる世界 はままつ環境ウォール リアルタイム地震 アースモニター	コレクションウォール バイオミメティクス	
2 階	22点	光ゾーン	アクティブ・ライト・シューティング 光のテーブル いろいろな鏡 カラーミキサー 瞳のかんさつ 光ファイバーのしくみ	光通信のしくみ 光ではかる 光で動きをとらえる 目のしくみ 立体に見えるワケ 色当てチャレンジ	ゾートローブ 視覚のふしぎ かげ絵あそび 光の波長と技術 光の3原色	ようこそ LEDの世界へ ナノレーザー イ号テレビ 高柳 健次郎 堀内 平八郎
2 階	25点	音ゾーン	弦の動き 耳のしくみ 発声のしくみ どこまで聞こえる？ どう聞こえる？ 効果音をつくろう	おでこで聞こう 音でしらべる エコチューブ 音のしぶき 音のかたち 響きの変わる部屋	ピアノアクション 電子楽器の世界 へんてこ楽器 スピーカーのしくみ	山葉 寅楠 河合 小市 梯 郁太郎 音を利用する（製品展示） 音板打楽器 音階パイプ 水琴窟の音色を聞いてみよう 声紋をみよう 聴診器で聞こう
2 階	23点	カゾーン	アクティブ・パワー・コースター ビジュアルビリヤード パスカルのイス 縦波と横波 砂鉄でお絵かき 振り子の動き	いろいろ発電 電磁誘導テーブル 風のテーブル メカニカルウォール メカニカルブロック クルマの基本と応用	バイクの基本 EVサーキット 船を動かそう パワーアシストつなひき 磁石と磁力線 液体の粘性	鈴木 道雄 本田 宗一郎 川上 源一 水のテーブル 水であそぼう
2 階 3 階	11点	宇宙ゾーン	アクティブ・スペース・ミッション 星座を見つけよう スイングバイ ロケットを飛ばそう カミオカンデVR	スペースホットピック（3F） 月面AR（3F） 笹ヶ瀬隕石（3F） H 2 A ロケット（模型・3F） 光学式プラネタリウム（3F）	宇宙エレベーター	
2 階	2点	やらまいか テクノロジー コーナー	天龍製鋸 2023年10月20日～2024年4月7日 ソミックマネジメントホールディングス 2025年3月20日～8月末			
合計		95点				

屋内施設、屋外施設・展示については、常時、開放されている空間であるため、特に安全で快適な状況を保つよう努めるとともに、さまざまな事業を展開する場として活用しています。

区分	数量	ゾーニング	ファシリティ・アイテム		
屋内	6箇所	屋内施設	2 階 キッズ・サイエンス・ランド みらいーらルーム	中 2 階 みらいーらステージ ギャラリー	1 階 ものづくりラボ サイエンスラボ
屋外	8箇所	屋外設備・展示	サイエンスパーク パワーアシストハウス サウンドコレクトチェア マテリアルベンチ	芝生広場 バラボラ サイエンス農園 ニュートンのリングの木 醍醐寺のクローン桜	デッキ 霧のステージ 自然観察園

2. 特別展・企画展・特別イベント

特別展・企画展を開催し、市民が科学に親しむきっかけをつくるとともに、浜松の魅力を広く発信することに努めています。

名 称	開催日数・入場料	実施内容
春の特別展 「浜松ミクロ散歩」 4月1日～5月6日	【開催日数】 4月：23日 5月：6日 計 29 日間 【入場料】 一律 300 円 ※未就学児は無料	浜松の名物・名所を、電子顕微鏡を使ってミクロな視点で紹介。現地取材と電子顕微鏡での観察結果のパネル展示や、現物を用いた解説を実施。 入場者数：692 人
夏の特別展 「しかけ絵本でサイエンス」 7月20日～9月1日	【開催日数】 7月：12日 8月：31日 9月：1日 計 44 日間 【入場料】 一律 300 円 ※2 歳以下は無料	しかけ絵本に用いられる 7 つの科学原理を職員内製の実験道具で紹介。また、それらの科学原理が用いられた 120 種類の「しかけ絵本」を集め、一人で、みんなで絵本を楽しむ空間をつくった。 入場者数：5,350 人
秋の企画展 「科学の学園祭 2024」 10月5日～27日	【開催日数】 20 日間 【入場料】 無料ゾーンにて開催 ※期間中、学生証提示で常設展入場料無料	来場者と学生、学生どうしで科学を介した交流を目的として、浜松市および近隣の学生たちによる科学活動の発表の場を設けた。また、夏季に実施した「みらいーら自由に研究ラボ」の成果をポスターにまとめて展示、ジュニアボランティアもブース出展した。 入場者数：2,612 人 参加校数：10 校 学生参加者数：160 人
冬の企画展 「みんなで熱中！ものづくり 2024」 12月21日～ 2025年1月13日	【開催日数】 12月：8日 1月：10日 計 18 日 【入場料】 無料 ※コンテスト参加費：300 円	手作りロケットを作り、飛距離を競うコンテストを実施。飛距離が伸びるように、試行錯誤しながら改良する過程で、ものづくりの楽しさを体感できる催し。 入場者数：685 人 コンテスト参加者数：390 人

名 称	開催日数・入場料	実施内容
春の特別展 東海道新幹線 60 周年企画 「東海道新幹線ずか ん」 2025 年 3 月 1 日～ (4 月 6 日)	【開催日数】 3 月：28 日間 ※4 月：6 日間 計 34 日間 【入場料】無料 ※常設展入場券の提示が必要	東海道新幹線 60 周年に合わせて、貴重な資 料を 50 点以上展示したほか、日替わり体験や ワークショップ、関連イベントなどを実施した。 特別協力：東海旅客鉄道株式会社 協力：株式会社タカトミー 入場者数：3 月 10,514 人 ※ 4 月 3,025 人 計 13,539 人
特別イベント みらいーらブックセレク ション展 6 月 15 日～9 月 1 日	【開催日数】 計 73 日間 【入場料】無料ゾーン（サイエンスラ イブラリー）にて開催	市内の小・中学生を対象に、その人に読んでほし い 1 冊をスタッフが選書し贈呈。当選者の読後の メッセージとスタッフのメッセージを本とともにライブラ リーに展示した。 共催：浜松ロータリークラブ 応募人数：38 人 本の贈呈：38 人 ※6 月 16 日：記念品贈呈式 出席者：7 人（家族 15 人）

3. 展示体験プログラム・支援ツール

(1) 展示ストーリーブック

自然を起点とし、歴史・文化との相互作用を経て、力・音・光・宇宙という4つの分野でさまざまな産業が生まれてきた浜松地域のストーリーを、当館の展示ゾーンに関連付けて紹介するコンテンツです。科学館内に掲示するとともに、ウェブサイトでも公開しています。



（２）学習活用ワークシート

展示アイテムを利用した小学生の主体的な学び、深い学びを促進することを目的としています。児童を対象とした学習活用ワークシートを小学校の単元別に展開し、主に学校団体による学習利用の際に活用されています。

内容：３年生「磁石の性質」・「光の性質」

４年生「月と星」

５年生「電流の働き」・「振り子の運動」

６年生「電気の利用」・「土地のつくりと変化」

（３）科学学習情報システム

展示に関わる情報と科学的知見の提供を行うとともに、クイズ形式で学びの促進を図る科学学習情報システムを運用しています。クイズの回答によるポイントや個人の体験の記録を残すことで、自宅など科学館の外での振り返りや自分で調べる発展的な学びにつながることを目的としています。

ポイントを貯める機能や、チャットボット機能を活用し、スマートフォン・アプリあるいは IC カード（みらいーらカード：2025 年 3 月 31 日で終了）を用いた学習支援と展示の利用促進を図りました。獲得したポイント数に応じて、オリジナルグッズや特別体験などの特典を提供することで参加意欲が増すようにしました。

4. 参加型学習

利用者サービスの目標を「創発的な学びの場の構築」として経験価値の向上に努めました。多様な利用者に向けたさまざまな体験プログラムをスタッフ自らが企画・実施し、身近な事象から宇宙まで幅広く興味関心を喚起するよう図りました。いずれも他の類似施設で行われているものより大規模な仕掛けで参加機会も多く、利用者の科学への関心を引き起こし、思い出や記憶に残る浜松科学館ならではの人気プログラムとなっています。

名 称	実 績	内 容
科学学習情報システム	アプリ登録数 546 人 カード登録数 646 人 (合計) 1,192 人	アプリは公式 Web サイトと連動し、浜松科学館に関する情報を取得できるツールとしても機能している。
アクティブ展示解説	実施回数 1 日 3～9 回 平均 6 回 計 360 回 参加者数 5,069 人	5 ゾーンの展示アイテムを活用し、スタッフが利用者とコミュニケーションをとりながら解説。
サイエンスショー	実施回数 1 日 5 回 1,516 回 参加者数 49,549 人 (1 回平均 33 人参加)	科学館のメインコンテンツ。演者と参加者がショーを介して交流しながら、予測したり考えたりするプロセスを重視したプログラム。
ミニワークショップ	実施回数 1 日 1 回 312 回 参加者数 10,050 人 ※うちミニワーク引換券利用者 187 人	10～15 分程度で体験できる、実験や工作などのプログラム。およそ 2 週間ごとに内容を入れ替え、コンテンツの鮮度を保ち、リピート参加を促進。
さがしてためしてみらい 3	実施日数 312 日 参加者数 3,866 人	親子で常設展をより楽しむために、常設展示内 5 ゾーンそれぞれで、観察や実験を行いながら問題冊子を解いていく仕掛け。
特別ミニワークショップ (夜の科学館ほか)	実施回数 13 回 参加者数 338 人	「夜の科学館」のテーマに沿ったミニワークショップを実施。また、2 月に、展示リニューアルの PR 促進イベントの一つとして、イオンモールで出張ミニワークショップを実施した。
企画展コンテスト	実施回数 1 日 3 回 54 回 参加者数 390 人	参加型の冬の企画展「みんなで熱中！ものづくり 2024」の中で「遠くへ飛ばそう！手づくりロケット」をテーマにものづくりのコンテストを実施。
教室・講座・イベント (サイエンスラボ、野外ほか)	実施回数 59 回 参加者数 14,137 人	短時間で気軽に参加できる「15 分で科学実験、展示実験」、1 時間程度の実験・工作・自然観察など、多種多様な形式のイベントを考案、実施。

5. 特別プログラム「夜の科学館」

利用者層の拡大を目指し、毎月第2金曜日に大人（高校生以上）限定の「夜の科学館」を開催しました。毎月異なるテーマに沿ったさまざまなコンテンツを用意し、大人が楽しめる時間と空間を創出しました。

（内容）①特別サイエンスショー・トーク ②特別投映 ③でんけんラボ ④ミニワークショップ ⑤ミュージアムショップ他

	テーマ	参加者数（うち常設展のみ利用者）
4月	嘘	89人（2人）
5月	コレクション	112人（4人）
6月	時	140人（7人）
7月	波	142人（12人）
8月	妖怪	198人（31人）
9月	スポーツ	97人（8人）
10月	毒	134人（9人）
11月	ファッション	137人（16人）
12月	掃除	104人（5人）
1月	酒	130人（8人）
2月	恋	138人（14人）
3月	旅	169人（10人）
合計		1,812人

6. プラネタリウム

（1）投映スケジュール

回	平日（長期休暇を除く）	土曜・日曜・祝日・長期休暇期間
1	10：00～10：45 事前予約団体	10：30～11：10 キッズプラネタリウム
2	11：30～12：15 事前予約団体	11：40～12：35 生解説プラネタリウム
3	13：00～13：45 事前予約団体	13：15～13：55 大型映像
4	14：30～15：10 生解説プラネタリウム	14：30～15：25 生解説プラネタリウム
5	15：50～16：45 大型映像	15：50～16：30 大型映像
6	18：50～19：45 特別投映（毎月第2金曜日）	—————

(2) 投映番組

① プラネタリウム

当日の星空解説とテーマ解説を、スタッフがすべて生解説することによって、一方的ではなく双方向のコミュニケーションを重視した投映を展開しました。テーマ解説部分では、企画・シナリオ・作画・動画制作・編集・スクリプト制作などの工程をスタッフが内製化し、宇宙天文に関する話題をタイムリーに提供しました。

当館の特徴である地域に根ざした投映を目指し、テーマ「月がきれいな夜に話したい3つのこと」では浜松市の景色を、「まわる星と、かわる季節」では当館ボランティアの方々からご提供いただいた四季の写真を盛り込んだ番組を制作しました。

【テーマ】

投映期間	テーマ内容	回数	観覧者数
4月1日～6月16日	「花と星めぐり」 浜名湖花博 2024 の開催にあわせたコラボレーション企画。	98 回	3,980 人
6月18日～7月7日	「七夕まつり」 七夕伝説や古今東西のさまざまな七夕まつりを紹介。	26 回	1,728 人
7月9日～9月16日	「宇宙へ GO！夢の宇宙旅行 2024」 月や火星、銀河系を巡るバーチャル宇宙旅行を楽しむ。	99 回	11,364 人
9月18日～11月29日	月がきれいな夜に話したい3つのこと 秋に月がきれいに見えるのはなぜか。お月見の時期に月にまつわる話を紹介。	83 回	3,316 人
11月30日～12月25日	「星降るクリスマス」 クリスマスツリーの起源、ツリーに飾るオーナメントの意味、ベツレヘムの星にまつわる伝説を紹介。	32 回	1,615 人
12月26日～ 2025年4月3日	「まわる星と、かわる季節」 季節はなぜ変わるのか？見える星座が変わるのはどうして？ かわる季節とまわる星の関係を紹介。	122 回	5,970 人
1月15日～3月31日	「星空マルシェ」 気軽にみられる生解説プラネタリウム。今夜の星空や話題の天文現象などを紹介。	35 回	300 人
4月1日～3月31日	特別投映（夜の科学館） 「夜の科学館」のテーマにあわせて特別なプラネタリウムを投映。その日に見える星空の解説と二部構成。	24 回	1,512 人
合 計		519 回	29,785 人

② 大型映像

プラネタリウムドームを有効活用し、科学分野の大型映像を上映することで科学への興味・関心を高めました。

【上映コンテンツ】

上映期間	コンテンツ内容	回数	観覧者数
4月1日～7月19日	「銀河鉄道の夜」 星を愛した作家・宮沢賢治の傑作『銀河鉄道の夜』を映像クリエイターの KAGAYA 氏が鮮明に再現した作品。	91 回	2,356 人

上映期間	コンテンツ内容	回 数	観覧者数
4月1日～3月31日	「すみっコぐらし」 すみっコのキャラクターと一緒に星空を巡る番組。	266回	24,397人
7月20日～10月15日	「恐竜超世界」 巨大な手をもつ「デイクエイルス」と高い知性をもつ「トロオドン」それぞれの親子の物語。	75回	4,491人
合 計		432回	31,244人

③ キッズプラネタリウム

小学校低学年以下の児童が、家族と楽しめる星空生解説番組を、通常より短い25分間で実施しました。投映当日の昼から夜をむかえ、浜松で見られる星空案内と、見ごろとなる天体、星座、星並び、天文に関するイベントをトピックとして取り上げ、いつ来館しても新しい発見があるようにしました。

【上映コンテンツ】

投映期間	投映内容	回 数	観覧者数
4月1日～3月31日	「きらきら☆こんやのおほしさま」 昼間の星から始まり、夕焼け、夜へと時間を進め、当日見られる天体や星座について紹介。	164回	9,982人

④ 事前予約団体を対象とした投映

小学校向けに、理科の授業カリキュラムに合わせた学習投映を行いました。理科学習以外での利用にも対応するため、幼稚園・保育園や小学校低学年向けのスタンダードプログラム2種類（ショート：約25分間、フル：約30分間）を今年度のキッズプラネタリウムの内容をベースとしたものに変更しました。生解説の特徴を活かし、スタッフが臨機応変に解説内容を変えることで、幅広い年齢層に合わせた投映となっています。

投映期間：4月1日～2025年3月31日（平日のみ）

団 体	投映内容	団体数	観覧者数
小学校	小学校向け学習投映 スタンダード 理科学習小学4年 理科学習小学6年 大型映像	79団体	4,968人
幼稚園・保育園等	幼稚園・保育園向け星空生解説番組 スタンダード 大型映像	83団体	3,001人
中学校・高等学校 その他	その他団体向け投映 スタンダード 理科学習小学4年 理科学習小学6年 理科学習中学生以上 大型映像 プラネタリウム	24団体	863人
合 計		186団体	8,832人

7. アテンダント

① 業務の概要

利用者に対し適切な案内を行い、顧客起点の接客や確実な発券業務により、利用者満足度を高めるよう図りました。業務マニュアルに基づく研修を随時行い、スタッフ各人が高いサービス水準の維持、向上に努めています。また、学習利用団体等の予約に際しては、申し込みや下見の受付、問い合わせなどの窓口を一元化し、状況に応じた利便性の高いスピーディーな対応を行いました。

② 業務実績

◎ 1 階インフォメーションにおける受付・案内業務

業 務	内 容
来館者の誘導 案内・受付業務	団体利用の申込受付や下見に際して、利用時の不明点を解消できるよう対応。また、利用者視点での臨機応変な対応を心がけ、利用者一人ひとりに合った最適なサービスの提供を目指した。特別支援学校の団体利用では、障害のある方も気兼ねなくプラネタリウムをご覧くださいるように配慮したり、喀痰吸引やおむつ交換の場所を専用に確保したりするなど、利用者との対話を通して、必要なサービスや機会を提供した。（合理的配慮の提供） また、土日祝日及び夏休み・冬休み・春休み期間には入口に「コンシェルジュ担当職員を配置し、館内利用案内や周辺の情報提供など、来館者に寄り添ったサービスを提供した。
発券業務	常設展入場料、プラネタリウム観覧料等の利用料金の徴収（減免手続や領収書発行等含む）、チケットの発行、年間パスポートの新規発行・更新手続き、プラネタリウム残席数の管理、各種割引券への対応、提携駐車場チケット等の配布を実施。また、来館者のニーズに合わせ、クレジットカード、QRコード決済を導入。
端末貸出業務	科学学習情報システムの貸出端末利用者への提供。
情報提供業務	周辺及び市内の文化施設や関係機関に関する情報提供等を行った。特に、利用者から問い合わせの多い駅へのアクセスや周辺飲食店について、パンフレット等を活用して対応をした。またインフォメーションの X（旧 Twitter）アカウントを開設し、館内のイベントや地域の情報を投稿した。
その他	・日本語を母語としない方への対応を工夫し、必要な情報が伝わるように工夫した。 「やさしい日本語」での案内、Yes・No チャート（英語）の使用。多言語（英語・ポルトガル語・中国語）で作成したプラネタリウムの注意事項等の作成と配布。 ・窓口での簡単な外国語対応マニュアル（英語・ポルトガル語）の作成 ・エントランスにフотスポットの常設。季節ごとの背景や浜松科学館オリジナルキャラクターの立て看板を設置。



◎ プラネタリウムにおける誘導・案内、安全管理業務

プラネタリウムドーム内で、観覧者の誘導、案内および安全管理を行いました。

業 務	内 容
チケット確認	観覧券の確認および観覧者数のカウントを行った。
誘導案内	座席への誘導および出口への誘導を行いました。また、観覧者に対しドーム利用上の注意点等の説明を適宜行った。
安全管理	非常時の避難誘導を含めた、番組投映中の場内の安全管理に取り組んだ。また、避難誘導訓練を行い、観覧者の安全確保に努めている

8. 連携協力事業 （参照：P5 1 VIII 資料 2「2024 年度イベント・講座実施状況」）

（1）学校等との連携

科学館の特徴を活かした効果的な学習を、浜松市教育研究会理科研究部や学校の先生方と連携して取り組み、学校団体が利用しやすい環境の確保に努めました。また、浜松市教育研究会理科研究部や校長会にも積極的に出向き、学校団体の学習利用を依頼しました。

① 学校団体の学習利用の推進

展示室の見学とプラネタリウムの学習投映を基本とした学校等の団体向けのプログラムを設けて、学年や学校側の諸条件に合わせて選択できるようにしています。『浜松科学館 学習利用ガイドブック』（A4 判 19 頁）を科学館ウェブサイトにも掲載しています。



また、浜松科学館ニュースレター「COMPASS」を、前年度に引き続き、浜松市の全小中学校、湖西市・磐田市・袋井市の全小学校児童、森町は各小学校 60 部を教育委員会経由で配布し、一層の周知を図りました。なお、第 26 号から、磐田市は教育委員会からのデータ配信に、袋井市は各小学校へ直接送付に変更になりました。

② 学習利用にあたっての教員との連携・協力

教員・引率者の相談や実地踏査（下見）に対応し、学習効果の高い授業の実施を支援しました。児童・生徒が展示を活用して主体的に学ぶことを支援するワークシートを用意し、ウェブサイトでダウンロードできるようにしています。また、リバージオモデル、浜松（天竜川）の岩石学習キット等の教材貸出の対応も行っています。

（学校団体利用状況：来館）

区分		2024年度		2023年度		2022年度	
		校数	人数	校数	人数	校数	人数
小中学校	浜松市	99校	5,580人	77校	4,381人	107校	6,163人
	県内他市	53校	3,279人	62校	3,951人	73校	4,768人
	県外	4校	155人	5校	167人	8校	461人
特別支援学校	県立	12校	198人	16校	225人	14校	229人
	県外（国立含む）	4校	110人	6校	166人	3校	64人
高等学校	県内	8校	300人	7校	211人	7校	257人
	県外	0校	0人	3校	134人	2校	70人
幼・保育園	浜松市	115園	4,501人	116園	4,766人	90園	3,746人
	県内他市	21園	726人	19園	575人	16園	569人
	県外	0園	0人	2園	135人	1園	72人
その他団体		82団体	2,712人	54団体	2,615人	55団体	2,236人
合計		398団体	17,561人	367団体	17,326人	376団体	18,635人

③ 出張プログラムの実施

今年度は、浜松市内に所在する遠方の学校（車で片道一時間程度）、院内学級、特別支援学校、外国人学校などを対象に実施しました。職員が学校に向かい、要望を聞きながら、ともにプログラムを組み立てて実施。実施前に打ち合わせを数回行い、生徒の様子や授業の進捗を確認しながら、学びの「発展」部分をサポートするプログラムを心がけました。

月 日	学校名	参加人数	実施内容
6 月 21 日	ムンド・デ・アレグリア学校 (市内外国人学校)	49 人	7 年生～9 年生（中学 1 年生～3 年生） 実験（電気） 7 年生：18 人、8 年生：17 人、9 年生：14 人
9 月 20 日	浜松特別支援学校 ※磐田分校	6 人	小学 4 年生～5 年生 ペットボトルロケット（空気）

④ 作品展、表彰式に関する業務

小・中学校の児童・生徒の理科学研究作品等について、関係団体との連携・協力により、作品展を開催しました。また「発明くふうコンテスト」では、初めて実演審査と表彰式を開催することができました。

名 称	開催時期	場 所	内 容
浜松市小・中学生 理科自由研究作品展	9 月 12 日～18 日	浜松科学館 ホール	共催：浜松市教育研究会理科学研究部 来場者数：2,296 人
第 5 回発明くふうコンテスト	① 9 月 21 日 ② 9 月 21 日～ 29 日 ③ 11 月 9 日	浜松科学館 ホール	共催：浜松経済クラブ ① 審査発表会 参加者数：31 人（一次審査通過者） ② 優秀作品展示 参加者数：1,126 人 ③ 表彰式 参加者数：22 人（受賞者）

⑤ 児童・生徒等に対する相談の実施

小・中学校の児童・生徒をはじめとする市民の科学や理科に関する相談に対し、助言等を行いました。

月	担当チーム	件数	主な質問・相談内容	方法
4 月	サイエンス	4 件	・宇宙エレベーターの仕組みについて ・野鳥の鳴き声の種名の同定依頼 ・昆虫の気門の観察方法（電子顕微鏡） ・ヒアリの疑いのある生物の同定依頼	来館、電話、メール

月	担当チーム	件数	主な質問・相談内容	方法
5月	サイエンス	5件	・根の観察方法 ・キシヤヤスデの生態（山梨新報社） ・ウナギの観察方法（電子顕微鏡） ・鳥の巣について ・孵化したナナフシモドキの飼育個体の確認	来館、電話
6月	サイエンス	3件	・天竜川の岩石の種類 ・シジュウカラの巣箱活用の工夫 ・キアゲハの飼育方法と実験方法	来館、電話
7月	サイエンス	3件	・化石のクリーニング方法 ・食べたスイカの種が発芽しない理由（自由研究） ・館の事業について（桜花学園大学）	来館、電話
8月	サイエンス	6件	・家庭でできる炎色反応（自由研究） ・暗順応。自衛隊が夜に赤色灯を使う理由 ・「標本をつくって観察しよう」（タネ編）の資料送付（自由研究） ・塩野脱水作用の実験結果（自由研究） ・愛ラブを使った調理（防災用：自由研究） ・北投石のラジウム濃度の測定	電話
9月	経営管理 サイエンス	4件	・防災について（浜松市立曳馬中学校） ・ボンドで顕微鏡レンズ作り方法（おうちでみらいーら） ・高山の気温、森林限界、心肺機能について ・夏の暑さ、冬の寒さ ・沖縄と本州の気温の違い	来館・電話
10月	サイエンス	2件	・海岸で拾った生物の遺骸 ・ノイズキャンセル効果	電話、メール
12月	サイエンス	2件	・ホシホウジャクの幼虫の飼育方法とヘクソカズラの入手方法 ・薬品の取り扱い	電話
1月	サイエンス	2件	・野鳥の種名 ・大学入試関連の質問	来館、メール
3月	サイエンス	4件	・飛行船の中の気体 ・恐竜の卵が酸性土壌で溶解する現象の再現実験 ・キリギリスの耳の一が掲載されている書籍の紹介依頼 ・学園祭の展示物の設計・制作に関する相談（浜松西高等学校：科学研究部）	来館、電話、メール
合計件数		35件		

⑥ 学校・公的機関の研修、実習等への対応

学校や教育委員会等の教育関係機関等の公的機関が行う研修、実習等を積極的に受け入れています。

月 日	研修・実習
5月30日	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー浜松校特別講座（19人）
7月30、31日	中学生の職場体験 静岡サレジオ中学校（2人）
8月1日	浜松市生活科学研究部研修会（115人）
①9月10、11日 ②9月12、13日	中学生の職場体験 ①ムンド・デ・アレグリア学校（4人） ②浜松市立曳馬中学校（5人）
9月11日～22日	大学生の博物館実習（7人） 静岡大学（3人）、静岡文化芸術大学、愛知大学、東海大学、鹿児島大学
①10月8、9日 ②10月16、17日 ③10月17、18日 ④10月22、23日 ⑤10月23、24日 ⑥10月31日、11月1日	中学生の職場体験（6校 47人） ①浜松市立蜷塚中学校（15人） ②浜松中部学園中等部（10人） ③浜松市立東陽中学校（2人） ④浜松市立進中学校（5人） ⑤浜松市立八幡中学校（5人） ⑥浜松市立西部中学校（10人）
①11月7、8日 ②11月14、15日 ③11月19日 ④11月19、20日 ⑤11月20、21日 ⑥11月21、22日	中学生の職場体験（7校 計45人） ①浜松市立富塚中学校（4人） ②浜松市立積志中学校（16人） ③浜松市立南部中学校（7人） ④浜松市立天竜中学校（3人） ⑤浜松市立南陽中学校（9人） ⑥浜松市立北部中学校（2人）、浜松市立湖東中学校（4人）
11月7、8日	総合学習 浜松市立富塚中学校（7人）
11月21日	浜松市新規採用教職員研修（教員38人）
12月4日	中学生の職場体験 浜松西高等学校中東部（3人）

⑦ 幼稚園・保育園の利用への対応

幼稚園・保育園に対し、幼児向けの投映等を実施しました。（参照：P14「6 プラネタリウム」）

(2) 教育関係機関等との連携

浜松市内ほか教育関係機関、研究機関、企業等と連携し、講座や展示教材の貸し出しなどを行いました。

名 称	開催時期	場 所
やらまいかワゴン ※天龍製鋸	2023 年 10 月 20 日～4 月 7 日	浜松科学館 やらまいかストリート
ユネスコ科学教室 ※浜松ユネスコ協会	5 月 11 日、6 月 15 日、9 月 7 日 12 月 15 日、1 月 25 日、2 月 22 日	浜松科学館 ホール セミナールーム サイエンスラボ
次世代のための日本語教室 ※HICE（浜松国際交流協会）	5 月 9 日～3 月 18 日 （8 月、9 月を除く毎週火・木曜日） 実施日数：61 日	セミナールーム
みらいーらブックセレクション ※浜松一タリークラブ	4 月 1 日～9 月 1 日	浜松科学館
グリーンサイエンスカフェ ※静岡大学	7 月 6 日	浜松科学館ホール
Hamamatsu Micro Maker Fair2024	7 月 7 日	浜松科学館 ホール
みらいーらブックセレクション展 ※浜松一タリークラブ	6 月	浜松科学館 サイエンスイブリー
わくわくサイエンスボ ※常葉大学、中部科学技術センター	8 月 10 日	浜松科学館
教員ための博物館の日	8 月 20 日	浜松科学館
ローランド DG の UV プリンターで君だけのオリジナル軽をつくろう！ ※ローランド DG 株式会社	8 月 21～23 日	浜松科学館 サイエンスラボ
化石探し体験 ※（公財）山崎自然科学教育振興会	8 月 3～6 日	浜松科学館
こども 110 番の家 広報イベント ※浜松市役所こども家庭部青少年育成センター	8 月 8 日	浜松科学館
みらいーら自由に研究ラボ	7 月 20 日～28 日 8 月 3 日、4 日 10 月 19 日（表彰式）	浜松科学館 でんけんラボ

名 称	開催時期	場 所
特別コラボ「鉄道サイエンスショー×JR 東海 踏切安全教室」 ※JR 東海	9 月 21 日、22 日	浜松科学館
第 9 回小・中学生 理科学研究プレゼンテーションコンテスト ※トップガン教育システム協議会	10 月 27 日	浜松科学館 ホール 他
「ビーコロ装置づくり」 ※静岡文化芸術大学	10 月 15 日	静岡文化芸術大 学
H3 ロケット打ち上げパブリックビューイング ※JAXA 配信	11 月 4 日	浜松科学館
第 5 回 浜松市小・中学生発明くふうコンテスト ※浜松経済クラブ	11 月 9 日	浜松科学館 ホール
河合楽器ラッピングピアノ設置	11 月 7 日 ～2025 年 3 月 31 日	浜松科学館 エントランス
浜松国際ピアノコンクール出場者によるホー ムコンサート	11 月 16 日	浜松科学館 エントランス
出版記念講演 「タムシの翅はなぜ輝いているのか」 ※化学同人	12 月 1 日	浜松科学館 ホール
第 12 回 MATH やらまいか決勝大会 ※トップガン教育システム協議会	12 月 14 日	浜松科学館 ホール
「やさしい日本語でプラネタリウム」 ※浜松国際交流協会（HICE）	1 月 13 日	浜松科学館 プラネタリウム ドーム
青色 LED を使った電子楽器 PB トーンを作 って演奏しよう！ ※日本ソーラービークル協会「笑輪」実 行委員会 浜松楽器博物館 静岡県立城北工業高校 日立技術士会サイエンス夢クラブ 公益社団法人東京応化科学技術振興 財団 静岡県地球温暖化防止活動促進セン ター	1 月 26 日	浜松科学館

名 称	開催時期	場 所
浜松住まいエキスポ 2025 ※静岡文化芸術大学	1 月 19 日、20 日	浜松市総合産業 展示館
佐鳴予備校プレゼンツ「ワクワク学び」フェス	3 月 1 日、2 日	浜松科学館 サイエンスラボ
やらまいかワゴン ※ソミック石川	3 月 18 日～3 月 31 日	浜松科学館 やらまいかストリート
ワークショップ「見えないものを見る」 ※浜松鴨江アートセンター	3 月 23 日	浜松市鴨江アート センター
「東海道新幹線おしごとずかん」 春の特別展関連イベント ※東海旅客鉄道株式会社	3 月 24 日	浜松科学館

(3) その他（研究機関や科学館との連携事業等）

① 研究機関等との連携

科学に関連した研究機関との連携を行いました。

名 称	月 日	内 容
博物館共同調査 ※浜松市博物館	9 月 10 日 10 月 29 日 (記者会見)	浜松市博物館とともに、当館のマイクロスコープを使用して、伊場遺跡から出土した甲冑の調査を行った。 黒漆の上から水銀朱を塗っていることが証明された。
夜の科学館特別展示解説 「伊場遺跡出土木製鎧」 ※浜松市博物館	11 月 8 日	浜松市博物館と科学館が共同で科学的な調査をした伊場遺跡から出土した弥生時代の木製鎧を、夜の科学館で展示し、浜松市博物館館長が解説した。

② 全国の科学館、博物館との連携・協力

当館が加盟している日本博物館協会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会等の会合に参加しました。また、他の科学館、博物館との連携等を図りました。

名 称	開催時期	実施内容
星空案内人養成講座 ※浜松市天文台	5 月 12 日	星空案内人養成講座「星座を見つけよう」を当館のセミナールーム、プラネタリウムを会場に開催。天文チームの伊藤が講師として参加した。参加者 20 人。

名 称	開催時期	実施内容
静岡県博物館協会総会	5 月 21 日	静岡県博物館協会総会、役員会が、静岡県立美術館で行われ、2024 年度事業の地域セミナーに浜松科学館の「科学の学園祭」が採択された。
全国プラネタリウム大会 2024・横浜	6 月 3 日～5 日	全国プラネタリウム協議会総会、研究大会が横浜市中で行われ、上野（チーフエディター）が参加。全国のプラネタリウム担当者と交流、情報交換をおこなった。
まちなか天体観望会 ※浜松市天文台	7 月 28 日	太陽望遠鏡などを用いて、サイエンスパークにて太陽の観望会を行った。
全国科学館連携協議会 東海ブロック研修会	11 月 27 日	研修テーマ「他施設との連携」 連携協の東海ブロック研修会が静岡科学館にて行われ、椿（リレーションオフィサー）が浜松科学館における連携について事例発表を行った。 参加者：鎌田（PRチーム）
第 72 回全国博物館大会（長野大会）	11 月 27 日 ～29 日	第 72 回全国博物館大会が「文化観光と博物館～文化の魅力を伝えるために博物館ができること～」をテーマに長野県松本市で行われ、加藤（事業企画グループマネージャー）が参加。3 日間を通して、長野県内の博物館の取り組みの紹介やエクスカーション、情報交換を行った。
まちなか天体観望会 ※浜松市天文台	2025 年 2 月 21 日	アクト通りにて、天体観望会を実施した。当日は、金星、木星、火星を中心に望遠鏡で観望し、肉眼にてオリオン座や冬の大三角などの観望を行った。
はまはく座談会「博物館を考える」 ※浜松市博物館	2025 年 2 月 22 日	市内博物館施設の学芸員や職員を対象にした研修会。博物館や文化財を取り巻く社会情勢、法改正を鑑み、講演会や職員同士の議論を通して市内施設のネットワークづくりを目指す会が実施された。
「みて、さわって、つくって！ ワークショップ」 ※国立科学博物館 国立科学博物館 SCA	3 月 8 日	「みて、さわって、つくって！ ワークショップ」で見つける推しミュージアム」本事業にサイエンスチーム水谷が主催者、出演者として参加した。

③ 他機関や他のイベントとの連携による賑わい創出

昨年度に引き続き、浜松まちなかにぎわい協議会や浜松こども館など市内の施設と連携したクイズラリーを実施したほか、新たに遠鉄百貨店やメイワンとの連携や浜名湖花博 2024 など、連携先を広げました。

名 称	開催時期	実施内容
誘客促進	4月1日～ 3月31日	県内観光者の利用促進や中心市街地への回遊性を高めるための取り組みを推進した。 【観光優待券対象施設】 ・浜松・浜名湖ツーリズムビューロー観光優待券（常設展入場料1割引）
浜名湖花博 2024 浜名湖ガーデンパーク 会場と連携した集客促進	4月6日～ 6月2日	浜名湖花博 2024 の会期中、浜名湖ガーデンパーク会場で「タイムトンネル」(サイエンスチーム職員による星座デザインの制作)を設置し、入口に浜松科学館の PR 看板を設置したほか公式売店で当館オリジナルグッズ販売とリーフレット配布を実施した。
浜松まちなか科学館 in 遠鉄百貨店	7月19日～ 8月14日	遠鉄百貨店新館 2F にて、科学館の PR と街中の賑わいづくりのイベントを開催。ミニドームでのプラネタリウムの鑑賞や、自由研究に役立つ科学書籍、実験装置、パズルなどを展示し、浜松科学館の雰囲気を感じることができる空間を作った。8月10～12日はミニワークショップも開催。
アクトシティ スタンプラリー	8月1日～25日	浜松市文化振興財団からの依頼で、「アクトシティスタンプラリー」に協力。スタンプを4つ集めると、各施設から提供された景品を進呈した。
はままつまちなか クイズラリー	8月1日～ 10月31日	市内5施設共同企画で「はままつまちなかクイズラリー」を実施。市内各所を回りながら、浜松の魅力を学ぶことができるクイズラリー。正解すると、5施設「オリジナルシール」を進呈。
SBS マイホームセンタ ー掛川 ビーコロ出展	8月25日	過去の特別展で使用したビーコロ装置5台を野外ブースに設置し、来場者に体験いただき、浜松科学館の周知を行った。
発明とアイデア展	9月28日、29日	浜松発明研究会による、アイデアあふれる発明品の展示会。
浜松住まいエキスポ 2025 出展協力	1月19日、20日	SBS プロモーション、静岡文化芸術大学、浜松科学館が連携し、科学の楽しさを伝える「ビー玉コロコロ装置」展示を浜松住まい EXPO2025 にて実施。
ザ・ドリフターズ展×浜 松科学館 特別ガチャキャンペーン	3月26日	期間中（3月26日～4月8日）に浜松科学館ミュージアムショップへザ・ドリフターズ展の入場券の半券をご持参すると、浜松科学館オリジナルグッズ・イチ押しの商品を含めた「特別ガチャ」を1回引くことが可能なキャンペーンを実施した。
メイワン飲食店街との 相互誘客施策	3月15日	期間中（3月15日～3月31日）、当館の常設展入場券をメイワン飲食店街の対象店舗に提示すると、割引が受けられるキャンペーンを実施した。

④ 近隣駐車場の提携利用

提携駐車場（イタクパーキング）利用者に一定額（150 円）の割引チケットを提供しました。（※常設展・プラネタリウム観覧者、館内イベント参加者等対象）

年度	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
利用枚数	413 枚	1,600 枚	2,246 枚	3,260 枚	3,690 枚	3,633 枚

※2019 年 12 月 1 日から提携

9. サポーター会員制度

当館は、指定管理料と利用料金収入等に基づき管理運営をしていますが、子どもたちの学びを支え、新たな地域の価値を創造していくために、事業プログラムの拡充が求められています。そのため、より多くの皆さまのご支援とご協力が不可欠と考え、法人・団体向けのサポーター会員を募集し、多くの支援をいただきました。

（１）サポーター会員制度概要

項目	内容	
期間	1 年間（4 月 1 日～3 月 31 日）	
会費（年会費）	1 口 110,000 円（消費税 10,000 円含む）	
会費の主な使途	・特別展、企画展の拡充 ・参加型学習事業の充実 ・プラネタリウム、大型映像番組の拡充	
特典	招待券（常設展+プラネタリウム観覧）	1 口につき 10 枚
	特別展・企画展招待券	10 枚
	特別展・企画展内覧会ご招待	開催日前日の関係者・報道向け内覧会
	ニューズレター「COMPASS」送付及び社名・団体名掲載	送付は発行毎（年間 5 回、部数 10 部）
	浜松科学館ウェブサイトへの社名・団体名掲載	社名・団体名掲載（リンク設定なし）
	プラネタリウムドームでの社名放映	番組開始前に社名一覧を放映

（２）2024 年度実績

サポーター企業数	協賛口数	金額
54 社	64 口	6,210,000 円

（３）2024 年度サポーター会員一覧

共和レザー株式会社 スズキ株式会社 ヤマハ株式会社 ヤマハ発動機株式会社 ローランド株式会社
 株式会社静岡銀行 遠州信用金庫 JA とびあ浜松 株式会社さなる 静岡県西部生コンクリート協同組合

セキスイハイム東海株式会社 株式会社太洋サービス 中村建設株式会社 株式会社ティ・エム・ワイ株式会社
 河合楽器製作所 本田技研工業 浜松磐田信用金庫 アクトサービス株式会社 朝日住宅株式会社
 株式会社飯田組 株式会社うなぎパイ本舗 エンケイ株式会社 遠州鉄道株式会社 株式会社エス・ビー・エム
 加藤特許商標事務所 社会福祉法人 公友会 サーラエナジー株式会社 株式会社ザザシティ浜松
 株式会社シービーエム 株式会社システック 社会保険労務士法人村松事務所 須山建設株式会社
 株式会社静岡県セイブ自動車学校 ソフトブレイン工業株式会社 ソミックマネジメントホールディングス
 株式会社大和工芸 中部印刷株式会社 テイボロ株式会社 天龍製鋸株式会社 東邦液化ガス
 株式会社中村組 日管株式会社 有限会社ネットワーク 浜松駅ビルメイワン 学校法人 浜松海の星学院
 学校法人 信愛学園浜松学芸中学校・高等学園 浜松ヤナセ株式会社 丸八不動産株式会社
 三井工業株式会社 山崎電機産業株式会社 株式会社吉和田浜松 ラビット急株式会社 リサイクルクリーン
 ローム浜松株式会社

10. ボランティア活動支援

科学館活動のパートナーとして市民ボランティアと連携・協働し、科学を楽しむ地域文化の創造を目指すとともに、利用者が自らの興味・関心や学びを深める自主的な活動をする「場」を提供します。

① 募集・面談・登録・研修

4月1日～5月31日に募集を行いました。6月8日、9日に個別に面談したのち、新規で一般ボランティア10人、ジュニアボランティア（中学生・高校生）21人が登録、6月22日、23日のオリエンテーション・研修を経て、7月1日から活動を開始しました。

※2024年度登録者数：一般ボランティア27人、ジュニアボランティア41人（中学生30人、高校生11人）
計68人

② ボランティア活動の場

来館者とのコミュニケーション、常設展示案内、ミニワークショップやイベントの運営補助、参加者支援をスタッフと共に実施しました。自然観察園の整備活動では、景観の美化、樹木の維持管理として低木の伐採や清掃を実施するとともに、自然観察園内の生物の観察、スタッフによる講義などに参加しました。また、2022年度から始まったボランティアが自ら企画・運営するイベント（「科学の学園祭」でのジュニアボランティアブース出展、サイエンステーブル「Mite Mite（ミテミテ）」）を実施し、多くの来館者と交流しました。MiteMiteでは、5人のメンバーが、自身のキャリアや専門性を生かして、科学を楽しむ入り口となるような企画を立案、実施しました。

新たな取り組みとしては、2023年度に「やさしい日本語」研修を受けたジュニアメンバーで「やさしい日本語」の案内づくりと、館内サイン調査に取り組みました。「やさしい日本語」案内は、市内外国人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」の生徒さんにご協力いただき、利用のしやすさを検証しました。館内サイン調査では、PRチームのスタッフと一緒に、館内の案内表示の種類や数、位置を調べ、なぜ表示が多くなるのかその原因を調査しました。次年度も継続して、活動していく予定です。

③ 活動実績

年間で合計 150 日、延べ 406 人が参加しました。昨年度に比べ、活動日数は 20 日、延べ活動人数は 79 人増加し、活発な活動を展開しました。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動日数（日）	11	9	11	17	20	9	9	13	11	10	11	19	150日
一般	10	8	11	11	15	6	9	11	8	9	11	12	121日
ジュニア	9	5	10	16	20	8	8	12	11	10	10	19	138日
参加人数（人）	27	18	28	41	35	36	36	41	33	29	40	42	406人
一般	12	11	15	15	15	16	16	19	13	16	17	18	183人
ジュニア	15	7	13	26	20	20	20	22	20	13	23	24	223人

④ ボランティア研修

- ・「サイエンスコミュニケーション研修」（一般対象）

開催日：11月30日、12月1日 参加者：7人

- ・「やさしい日本語講座」（一般・ジュニア対象）

開催日：2月1日 参加者：1人（ジュニア）

- ・「知るよこびをいっしょに」（一般・ジュニア・職員対象）

開催日：12月8日

講師：六星ウイズ 斯波千秋氏、山城ウェンディ氏、松下歩氏

内容：外部講師による利用者支援研修（視覚障害）

参加者：11人（一般2人、ジュニア3人、職員6人）

⑤ 交流会

ボランティアどうしの親睦を図るため、交流会を実施しました、

開催日：2月23日 15:00～18:00

内容：活動報告会、懇親会、プラネタリウム特別投映

参加者：25人（一般11人 ジュニア14人）※特別投映はメンバーの家族9人参加

⑥ ボランティアブログの運用

浜松科学館ボランティアの活動を、多くの方に知っていただくことを目的として、ボランティアブログを定期的に更新しています。ボランティア担当スタッフで運用しています。

⑦ 活動評価

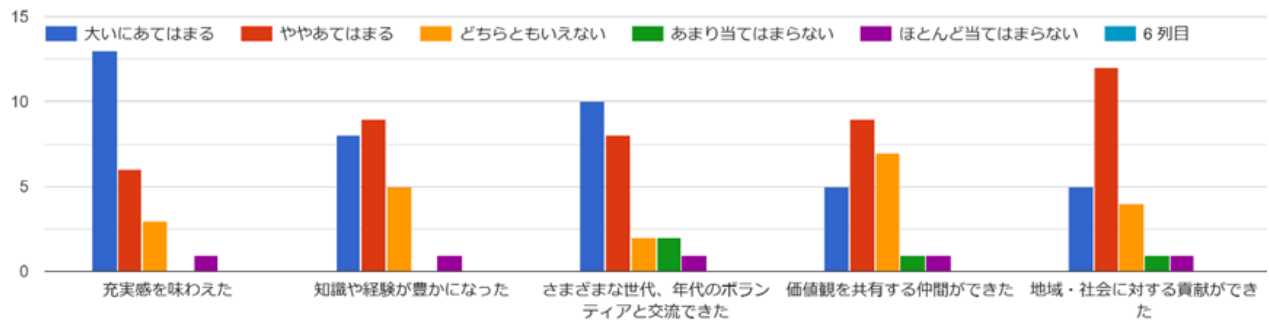
ボランティア活動の評価指標として、以下6項目についてアンケートを行いました。（結果は別添資料参照）

（ボランティア活動充実度調査：2025年3月実施 回答者62人：一般23人、ジュニア39人）

1. 充実感を味わえた
2. 知識や経験が豊かになった
3. さまざまな世代、年代のボランティアと交流できた
4. 価値観を共有できる仲間ができた（ジュニア：科学に対する興味や関心が深まった）
5. 地域・社会に対する貢献ができた（ジュニア：浜松科学館を身近に感じるようになった）
6. 地域への愛着心が深まった（ジュニア：地域への関心が深まった）

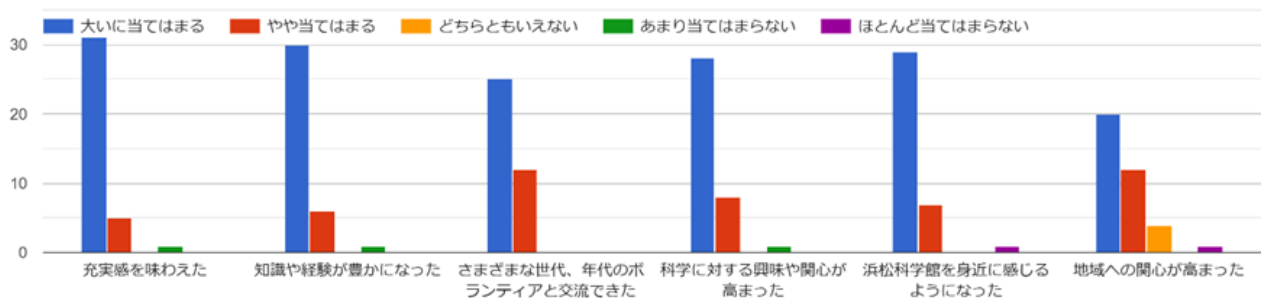
【一般メンバー】

2 今年度、ボランティア活動に参加していかがでしたか？あてはまる回答を選んでください。



【ジュニアメンバー】

2 今年度、ボランティア活動に参加していかがでしたか？あてはまる回答を選んでください。



2024 年度は、一般、ジュニアともに登録人数が大幅に増加しました。それに伴い、一般メンバーのキャリアや専門性を生かした展示案内活動の場や MiteMite の活動内容の幅が広がり、継続的な活動をしていただきました。ジュニアメンバーはワークショップでの活動を中心に、利用者支援やボランティアどうしの世代間交流を楽しむ様子が見られました。また、アクセシビリティに関する活動では、館内サイン調査など新たな取り組みを始めるとともに、1 年をかけて作成した「やさしい日本語」案内を検証するために、外国人学校の生徒と交流の機会を持つなど、充実した活動ができました。

活動の評価では、質問項目「1 充実感を味わえた」で、「大いにあてはまる」「ややあてはまる」と答えた人が、一般 82.6%、ジュニア 97.4%で、非常に高いものでした。メンバーからは「普段接することのない子どもたちやジュニアボランティアと交流することで新鮮な気持ちで活動できた（一般）」「自分自身がもっと科学を楽しみたい（一般）」「アクセシビリティの活動で、自分の出した意見を実際に試すことができ、自分もチームの一員として活動できていることを感じられた（ジュニア）」「新しい分野への学びや興味が大いに得られた（ジュニア）」などの感想が得られ、科学館での活動を楽しむ様子がうかがえました。一方、「MiteMite の活動改善のために、フィードバックがほしい（一般）」「ボランティアの最低限の基準設定は必要である（一般）」「既存展示の維持管理、説明表示等に改善が必要である（一般）」など、ボランティア全体の運営、科学館事業への要望など、広い視野で活動を見直す意見もありました。11 月には新設されたボランティアルームの運用が始まり、ボランティアの居場所ができました。今後は、自律した活動を支えるボランティアの組織化を目指し、引き続きボランティアとの協働をすすめていく予定です。

11. 調査・研究および収集・保存

博物館登録を機会に、従来保管していた昆虫類の所蔵標本及び寄託標本の目録を作成しました。具体的には所蔵している昆虫類の計 1,606 個体それぞれについて、科名、種名、採集日、採集地、採集者、保管場所、保管している標本箱 No. をデジタルデータに記録・保存しました。その結果、所蔵標本としてカメムシ目（3 科 3 種 6 個体）、バッタ目（1 科 1 種 2 個体）、チョウ目（2 科 3 種 7 個体）、コウチュウ目（1 科 1 種 5 個体）を、また寄託標本としてコウチュウ目（15 科 287 種 1586 個体）を記録しました。

毎月 1 回ボランティアとともに自然観察園の整備活動を行い、植物の遷移や外来生物の問題を生態学の野外実習の位置づけで教育普及を行いました。科学館ボランティアが主導してミニガイドブック「おそと de みらいーら」のアリ編の作成を目指して、毎月 1 回、アリの勉強会（アリ調査）を実施し、科学館敷地内でのアリの採集から標本作成までを行いました。また、note 連載として、昨年度開催した春の特別展「浜松ミクロ散歩」と連動した地域産業の作り手・守り手のこだわりや生産物の電子顕微鏡写真などと、自由に研究ラボの成果を掲載しました。年間で PV 数は 124,555 に上りました。



(note)

(博物館登録)

改正博物館法に基づき、所管課（浜松市市民部創造都市・文化振興課）を通して、浜松市教育委員会に登録の申請をし、登録博物館として認定を受けました。

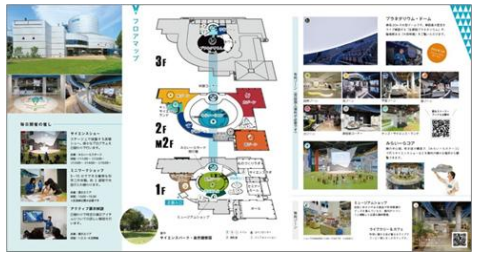
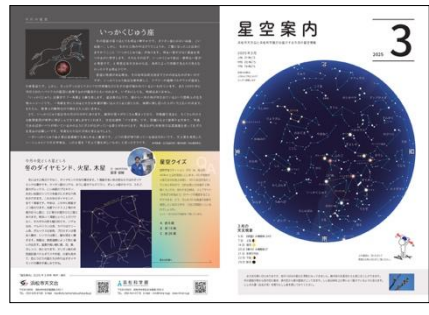
登録申請：7 月 16 日

現地調査：8 月 9 日（有識者による現地調査）

登録認定：10 月 18 日

12. パブリックリレーションズ

利用者の視点に立った広報に取り組み、地域やステークホルダーとのより良い関係構築ができるよう努めました。内製化した広報物により、情報を的確に届け、集客を図りました。また、Web や SNS、ニュースレターを通して科学館への親しみを感じられるよう、取り組みやスタッフの人柄が伝わる情報発信を行いました。また、今年度は春の特別展「東海道新幹線ずかん」、「第一期展示リニューアル」といった大型プロジェクトのプロモーションにも注力し、複数の媒体での広告掲載や、駅前での動画広告掲載等を行いました。

事 項	内 容																													
科学館ニュースレター COMPASS	科学館の事業の全体的な広報を行うため、浜松市、湖西市、磐田市※、袋井市の小学校の全児童、森町は各学校 60 部を教育委員会経由で配布し、掛川市はデータ送信。また、館内や市内公共施設、幼稚園・保育園で配架した。（A4 判×6 ページ三つ折りフルカラー） ※磐田市は第 26 号よりデータ配信 <table><tr><th>号</th><th>発行部数</th><th>発行月</th></tr><tr><td>第 22 号</td><td>73,200 部</td><td>4 月</td></tr><tr><td>第 23 号</td><td>73,480 部</td><td>7 月</td></tr><tr><td>第 24 号</td><td>72,970 部</td><td>9 月</td></tr><tr><td>第 25 号</td><td>74,730 部</td><td>12 月</td></tr><tr><td>第 26 号</td><td>64,430 部</td><td>2 月</td></tr></table> 		号	発行部数	発行月	第 22 号	73,200 部	4 月	第 23 号	73,480 部	7 月	第 24 号	72,970 部	9 月	第 25 号	74,730 部	12 月	第 26 号	64,430 部	2 月										
号	発行部数	発行月																												
第 22 号	73,200 部	4 月																												
第 23 号	73,480 部	7 月																												
第 24 号	72,970 部	9 月																												
第 25 号	74,730 部	12 月																												
第 26 号	64,430 部	2 月																												
科学館リーフレット	来館者を中心に配布した。 また、市内のホテルや観光施設などにも置いていただき、市内周遊の際、ご利用いただいている。 																													
星空案内	浜松市天文台との共同編集で月に一度発行した。（A3 判二つ折りフルカラー） <table><tr><th>月</th><th>発行部数</th><th>月</th><th>発行部数</th></tr><tr><td>4 月</td><td>2,500 部</td><td>10 月</td><td>2,400 部</td></tr><tr><td>5 月</td><td>2,400 部</td><td>11 月</td><td>2,400 部</td></tr><tr><td>6 月</td><td>2,400 部</td><td>12 月</td><td>2,400 部</td></tr><tr><td>7 月</td><td>2,400 部</td><td>1 月</td><td>2,400 部</td></tr><tr><td>8 月</td><td>2,800 部</td><td>2 月</td><td>2,300 部</td></tr><tr><td>9 月</td><td>2,400 部</td><td>3 月</td><td>2,400 部</td></tr></table> 		月	発行部数	月	発行部数	4 月	2,500 部	10 月	2,400 部	5 月	2,400 部	11 月	2,400 部	6 月	2,400 部	12 月	2,400 部	7 月	2,400 部	1 月	2,400 部	8 月	2,800 部	2 月	2,300 部	9 月	2,400 部	3 月	2,400 部
月	発行部数	月	発行部数																											
4 月	2,500 部	10 月	2,400 部																											
5 月	2,400 部	11 月	2,400 部																											
6 月	2,400 部	12 月	2,400 部																											
7 月	2,400 部	1 月	2,400 部																											
8 月	2,800 部	2 月	2,300 部																											
9 月	2,400 部	3 月	2,400 部																											
ポスター、フライヤー	科学館の催し等の集客を目的とし、ポスターおよびフライヤーを発行した。 ・ポスター 12 種 計 3,688 枚 ・フライヤー 12 種 計 29,600 枚																													

① 紙媒体



② ウェブ媒体

事 項	内 容
公式ウェブサイト	「今月の星空」「夜の科学館」などのブログ公開や定期的なサイト更新を行い、さまざまな目的で活用されるサイトを目指した。サイトへのアクセス動向は以下の通り。 ・ユーザー数 391,291 ・セッション数 538,704 ※セッション：ウェブサイトへの訪問のこと ・エンゲージのあったセッション数 317,543 ・セッションあたりの平均エンゲージメント時間 0:55 (※2024年4月1日～2025年3月31日の集計)
公式 SNS アカウント	X、Facebook、Instagram、YouTube の公式アカウントを通じて、催しの告知などを発信し、浜松科学館への集客を図った。

③ パブリシティ (※詳細は P56 資料参照)

項 目	件 数	内 訳
テレビ・ラジオ	22 件	テレビ：13 件、ラジオ 9 件
新聞・雑誌	40 件	新聞：35 件、雑誌：5 件
ウェブ	40 件	TV 系 5 件、新聞系：20 件、その他：15 件

④ 広告

項 目	件 数	内 訳
広告	1 件	ロボットまつり in 浜松科学館 (TVCM)
	2 件	夏の特別展「しかけ絵本でサイエンス！」 (TVCM、新聞広告)
	1 件	Hamamatsu Micro Maker Faire2024 (TVCM)
	9 件	春の特別展「東海道新幹線ずかん」 (TVCM、ラジオ CM、新聞広告、雑誌掲載)
	8 件	浜松科学館 第一期展示リニューアル (TVCM、ラジオ CM、新聞広告、雑誌掲載、サイネージ広告)

13. 視察・調査

静岡県内外の行政視察や科学館関係者、学校関係者等の視察・調査の対応をしました。

区 分	団体名・名称	月 日
行政・議会	浜松市文化財課	5月28 日、8月 9 日
	防府市教育委員会	8月1日
	静岡県教育委員会義務教育課	9月6日
科学館等	国立民族学博物館	6月13日
	京都市青少年科学センター	7月17日
	名古屋市科学館	8月9日
	多摩六都科学館	9月20日
	つくばエキスポセンター	11月26日
	山形県立博物館	1月8日
学校(理科教員視察等)	静岡大学教育学部	12月20日
その他	経済産業省九州経済産業局	8月20日
	株式会社リ・パブリック（オンライン）	9月4日
	浜松南消防署	1月22日、23日
	FUSE	2月20日
	株式会社環境デザイン研究所	2月28日

Ⅳ 維持管理業務

1. 科学館の維持保全業務

① 施設維持管理業務

来館者に満足してもらうための快適かつ機能的な環境を継続的に提供することを目的に、予防保全を基本とし、中長期的な視点からライフサイクルコストの低減に努めました。公共施設、社会教育施設としての施設特性を踏まえ、その目的の達成を施設維持管理面で支えるため、故障や不具合発生を未然に防ぐよう計画的に業務を行います。

② 業務実績

分類	分類	項目	仕様	2024												2025			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
設備運転管理業務	設備運転管理業務	日常設備管理、残留塩素測定		1-30	1-31	1-30	1-31	1-31	1-30	1-31	1-30	1-28	1-31	1-28	1-30	常駐業務			
1.建物管理業務	1.建物管理業務	特殊建築物定期調査	建築物調査													2年1回（奇数年）			
		建築設備定期点検	換気設備検査							15-16						年1回			
			非常用照明装置検査							15-16						年1回			
			防火設備点検							28	1-30					年1回			
2.設備点検業務	2.設備点検業務	昇降機点検		1	1	5	8	1	12	1	1	12	20	5	5	年12回			
		自動ドア保守点検		9												年4回			
		吸収式冷凍機保守点検		22-23				19				18-19		5		年4回			
		空調設備	パッケージエアコン	22-23								18-19				年2回			
			空調機	22-23								18-19				年2回			
			ファンコイルユニット	22-23								18-19				年2回			
			全熱交換器	22-23								18-19				年2回			
			ポンプ	22-23								18-19				年2回			
			送排風機	22-23								18-19				年2回			
			その他の点検(フロン)					19						5		フロン漏洩点検年2回			
			フィルター清掃	22-23				19				18-19		5		年4回			
		空調自動制御機器点検		22-23								18-19				年2回			
		消防設備点検	機器点検							15.21.28						年1回			
			総合点検											12.17		年1回			
			防火対象物点検								15					年1回			
		自家用電気工作物保守 (電力・ガス・水道 監視)	保守点検	4	8	6	16	7	2	8	11	6	20	3	5	年12回			
			年次検査													年1回			
		非常用発電機保守点検												5		年1回			
		監視カメラシステム保守点検											18			年1回			
3.環境衛生管理業務	3.環境衛生管理業務	受水槽清掃				17										年1回			
		雑排水槽清掃					8						20			年2回			
		害虫駆除・鼠防除管理	建物全域	26	24	27	26	26	27	30	27	25	24	27	27	年12回			
			飲食スペース	26	24	27	26	26	27	30	27	25	24	27	27	年12回			
			簡易専用水道検査			17										年1回			
		水質検査	水質検査全項目			26						25				年2回			
			略式項目(水のテーブル)			26						25				年1回			
		ばい煙濃度測定					19						10			年2回			
		レジオネラ菌検査			24			16								年2回			
		Fog装置保守		22												年1回			
		冷却塔水質管理設備点検			18	12	10	28	19	4						年6回			
		空気環境測定		1		4		1		1		5		7		年6回			

※各月内の数字は実施日

③ 屋外緑地管理業務

サイエンスパーク、自然観察園、サイエンス農園等、科学館敷地内の緑地管理を行い、樹木の剪定・伐採、雑草除去に努めるとともに、ニュートンのリンゴの木・醍醐寺のクローン桜、綿花等の生育を図って、周辺環境の向上と美観の保持、事業活用に供しています。

2. 特殊機材・展示物等保守管理業務

① プラネタリウム機器の保守管理業務

プラネタリウム機器を常に正常な状態に保ち、最適な環境の下で安定的に投映を行うことができるようにするために、日常点検を行うとともに、故障やトラブルを未然に防ぐための定期保守点検を行いました。また、不具合が生じた場合は、速やかに復旧させるために、補修や部品交換等の適切な事後保全処置に迅速に対応しました。

内 容		実施日
1	保守点検（㈱五藤光学研究所） （光学式プラネタリウム機器 CHIRONⅢ、ハイブリッドコンソール、デジタル映像システム機器 VIRTUARIUM II R7、音響装置、演出プログラム制作システム）	4月22日～25日 9月24日～27日

② 展示アイテム・ホール設備の保守管理業務

内 容		実施日
1	展示映像機器点検作業（指定管理者） （映像・音響装置、プロジェクター、PC、タブレット端末等調整・動作点検）	適時
2	展示装置・造形物点検作業（指定管理者） （調整・動作点検、目視点検）	適時
4	ホール舞台照明・吊物設備保守点検（㈱エスピーエスたくみ） ホール舞台音響設備保守点検	6月24日

3. 什器・備品等保守管理業務

浜松市物品管理規則（昭和40年規則第18号）に基づき、備品台帳を整備し、保守・修繕等を随時行い、適切に管理しました。

4. 清掃・警備・防災関係業務

(1) 清掃業務

- ① 日常清掃 日単位の短い周期で日常的に行う清掃業務
- ② 定期清掃 月1回程度定期的に行う清掃業務
- ③ 巡回清掃 1日1回の日常清掃と共に補完的な清掃業務
- ④ 補給作業 資機材や衛生消耗品の不足を確認し、常に補給を行う作業

(2) 警備業務

機械警備業務を実施し、夜間・休館日の警備に対応しました。

(3) 防災関係業務

災害に備えて防災対策を図るとともに、本施設が被災した場合には、直ちに補修等の措置を講じられるよう、設備管理業務協力会社との定例会議を開催し、施設の機能維持に努めました。

項 目	実施期間	備 考
建築設備点検	10月15日～16日	建築基準法第12条に係る設備の法定検査 (浜松市所管課への報告)
防火対象物点検	10月28日	消防法第8条の2の2に基づく消防署への点検報告制度
消防用設備等点検 (総合点検)	2月12日、17日	消防法第17条に基づく消防署への点検報告制度
避難誘導訓練	4月26日 11月11日	・消防計画書に基づく特定防火対象物の総合訓練 ・地震避難総合訓練
防災教育	随時	消防計画書に基づく教育活動 ※新規職員(常勤・非常勤)採用時

- 防火権原者及び防火管理者の選定と「浜松科学館消防計画」の策定(浜松消防署に提出)
- 避難誘導マニュアルの作成と自衛消防隊の編成
- 災害時や警報発令時の参集基準、方法の設定(緊急連絡網の整備)
- 緊急事態に備えた教育・訓練の実施－危機管理マニュアル及びアクション・カードに基づく総合避難訓練の実施(年間2回)
- 館内消火栓等確認

(4) 安全管理

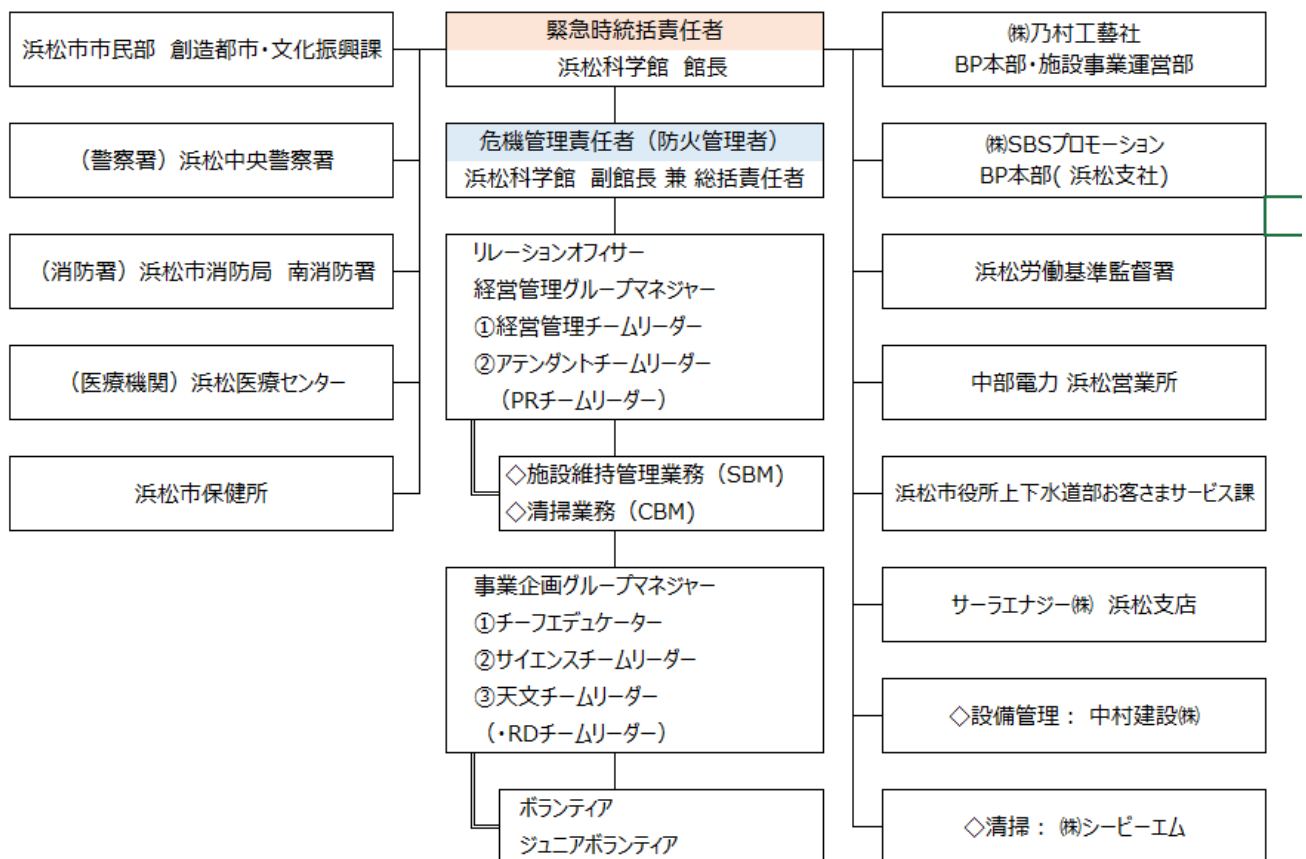
① 安全対策の基本的な考え方

来館者の安全を確保するために、前項（3）防災関係業務に基づき、施設内での事故・災害・盗難・不正・破壊等を未然に防止するよう図っています。特に、日常的な施設の施設・出入口の開閉及び入退室者の管理を行うとともに、来館者に対して細やかな心配りにより安全を確保し、危険な事態や火災・盗難等の早期発見と拡大防止に努め、災害や事故に強い施設づくりに取り組みました。

② 緊急時の対応体制

災害等の発生時には危機管理責任者を中心に連絡体制を整え、浜松市の関連部署と連携を密にした指揮命令系統をつくり、対策にあたります。

<緊急時連絡体制>



5. 修繕工事に関する業務

区 分	件数	主要事項の概要	対応状況
故障・不具合	11件	① 空調設備機器消耗品取替 ② 空調ロールフィルタ取替 ③ 冷却塔ファンベルト取替 ④ 冷却塔薬液補充 ⑤ ホロライトカバー損傷、LEDライト不調（天のリバー） ⑥ 非常階段タイル補修 ⑦ エアハンドリングユニットフィルター交換 ⑧ 全熱交換器フィルター交換 ⑨ 展示室5・6排気系統Vベルト交換 ⑩ 非常照明設備修繕工事 ⑪ 雨漏り修繕工事（2F音ゾーン、カゾーン、ホール2F）	①～⑩：浜松市所管課に報告の上、指定管理者 実施修理など10件 （修理費約190万） ⑪：浜松市による修繕
損傷・破損・汚損	7件	① エレベーター操作ボタン劣化による動作停止 ② 3Fホワイエ壁面のガラス部分破損 ③ 光ゾーン 天井材落下 ④ サイエンスパーク ごみの不法投棄 ⑤ 自然観察園内 物損事故 ⑥ サイエンスパーク ベビーカー不法投棄 ⑦ サイエンスパーク ベンキ散布	指定管理者による修繕、清掃

6. 事故・苦情等の対応状況

区 分	件数	主要事項の概要	対応状況
事故・事件	28件	① 体調不良・けが 21件 ② ごみの不法廃棄 2件 ③ 施設内物損事故 2件 ④ 迷惑メール（爆破予告）1件 ⑤ 利用者どうしのトラブル 2件	① 救護室で対応（安静、救急搬送等含む） ②③ 所管警察署に届け出 ④ 浜松市所管課に連絡 ⑤ 館内にて対応
意見・苦情等	1件	① プラネタリウム番組の未更新について	① 館内にて対応

V 施設貸出

(1) 業務概要

浜松市スポーツ・文化予約システム（まつぼっくり）による施設の利用申請を受け付け、利用許可を行い、利用料金を徴収しました。

(2) 貸室料金等

① 利用可能時間

9:30 から 21:30 までを貸出時間とします。（準備、片付け、原状復帰の時間も含む）

② 対象施設と利用料金（消費税及び地方消費税額含む）

対象施設	利用区分		9:30～10:00 及び 21:00～21:30	10:00～21:00 1 時間につき
ホール	教育関係団体	入場料徴収なし	470 円	940 円
		入場料徴収あり	940 円	1,880 円
	その他	入場料徴収なし	940 円	1,880 円
		入場料徴収あり	1,880 円	3,770 円
セミナールーム A	教育関係団体	入場料徴収なし	160 円	320 円
		入場料徴収あり	320 円	640 円
	その他	入場料徴収なし	320 円	640 円
		入場料徴収あり	640 円	1,290 円
セミナールーム B	教育関係団体	入場料徴収なし	160 円	320 円
		入場料徴収あり	320 円	640 円
	その他	入場料徴収なし	320 円	640 円
		入場料徴収あり	640 円	1,290 円

※椅子や机等の備品の貸し出しの他、音響、照明、冷暖房装置等の備品は有料での貸し出しを行います。

(3) 貸出実績

施設区分	利用団体区分	件数	利用者数	利用料金
ホール	教育	15団体	1,242人	63,900円
	一般	15団体	1,071人	127,740円
	手帳・高齢	0団体	0人	0円
	事業	1団体	570人	1,333円
	計	31団体	2,883人	192,973円
セミナールーム	教育	58団体	1,716人	84,160円
	一般	10団体	81人	26,240円
	手帳・高齢	0団体	0人	0円
	事業	0団体	0人	0円
	計	68団体	1,797人	110,400円
合計		99団体	4,680人	303,373円

VI 収支報告

I 収入

(単位：円)

区 分	内 訳	予 算	決算額	執行率	差 引
(A) 収入合計（税込）		259,750,400	259,068,409	99.7%	681,991
1 指定管理業務委託料	管理運営業務 年額170,110,600円（税込）	140,710,900	140,710,900	100.0%	0
	展示更新業務 年額48,999,500円（税込）	48,999,500	48,999,500	100.0%	0
2 利用料金		64,640,000	60,442,883	93.5%	4,197,117
入場料・観覧料等	常設展示・プラネタリウム等観覧料	58,689,000	55,751,810	95.0%	2,937,190
特別展入場料	春・夏の特別展等入場料、企画展ワーク ショップ参加費	3,000,000	1,327,800	44.3%	1,672,200
施設貸出使用料	ホール、セミナールーム貸室料	300,000	303,373	101.1%	△ 3,373
その他収入 （受益者負担金）	情報端末貸出料	1,000	200	20.0%	800
	みらいーらカード発行料	150,000	141,000	94.0%	9,000
	参加費・材料費	2,500,000	2,918,700	116.7%	△ 418,700
3 補助金、協賛金等	科学館サポーター会費、各種助成金等	5,400,000	8,915,126	165.1%	△ 3,515,126

II 支出

区 分	内 訳	予 算	決算額	執行率	差引
(B) 支出合計		260,530,400	256,350,947	98.4%	4,179,453
1 事業運営業務費		62,015,000	58,340,024	94.1%	3,674,976
常設展示運営費	保守点検、管理経費等・展示更新費	41,570,000	42,873,969	103.1%	△ 1,303,969
プラネタリウム運営費	番組制作・借上料、保守点検、管理経費等	10,515,000	9,715,444	92.4%	799,556
特別展・企画展運営費	企画料、製作費等	6,000,000	2,778,832	46.3%	3,221,168
教育普及事業費	展示消耗品、ミニワーク、サイエンス ショー材料費等	3,700,000	2,824,766	76.3%	875,234
ボランティア活動支援費	ボランティア活動支援費	230,000	147,013	63.9%	82,987
2 広報業務費		10,100,000	10,694,450	105.9%	△ 594,450
広報費、印刷費	広告媒体費、宣材印刷費等	10,100,000	10,694,450	105.9%	△ 594,450
3 施設運営業務費		143,940,000	141,779,755	98.5%	2,160,245
管理運営人件費	常勤・臨時職員給与等	131,604,000	130,091,288	98.9%	1,512,712
運営事務費	旅費、消耗品、事務機器等借上料、保険料 等	12,336,000	11,688,467	94.8%	647,533
4 施設維持管理業務費		36,959,000	37,403,318	101.2%	△ 444,318
維持管理業務委託費	清掃、設備管理、保守点検等委託料	34,121,000	34,923,394	102.4%	△ 802,394
その他施設管理費	安全管理、修繕料等	2,838,000	2,479,924	87.4%	358,076
5 公租公課		10,000	15,000	150.0%	△ 5,000
租税公課費	消費税、法人事業税等	10,000	15,000	150.0%	△ 5,000
6 一般管理費		7,506,400	8,118,400	108.2%	△ 612,000
一般管理費	バックオフィス事務経費等	7,506,400	8,118,400	108.2%	△ 612,000
収支（千円） (A) — (B)		△ 780,000	2,717,462	—	—

Ⅶ 自主事業

1. 必須の自主事業

(1) ミュージアムショップ

① 事業方針

事業活動と一体的に企画・運営し、利用者の科学への興味関心を高めるとともに、帰宅後にさらに学びを深めることを支援する商品や、館内での体験を回想し、また来館したいと感じてもらえるような商品の選定、販売を行いました。また、地域のアンテナショップとして、地元浜松の企業や事業者の商品も積極的に紹介することに取り組みました。

② 概要

営業日数	開館日と同じ
営業時間	9：30～17：00（夏季休暇期間は17：30まで） ※毎月第2金曜日「夜の科学館」開催日は終了時刻まで

③ 実施業務

事業と連動し、来館者の学びを支援するグッズや地元浜松の企業関連製品を販売し地域への愛着を促進しました。毎月第2金曜日開催の「夜の科学館」や特別展開連の商品を企画・販売し、多くの方に購入していただきました。新たな商品開発として、館のキャラクターやロゴを用いた缶バッジキャラメルや展示リニューアルを記念して、へんてこ楽器のバチとしても利用できる「浜松科学館」名入りスリッパなどのオリジナルグッズを発売しました。

業 務	内 容
グッズ販売	① 常設展示のテーマ（光、力、音、自然、宇宙）やプラネタリウムに関連した教材、実験・工作材料、書籍、文具などのグッズ販売 ② 特別展や企画展のテーマに関連した書籍、工作キット、教材などのグッズ販売 ※画像はJR 特別展にリンクした限定販売の商品。 ③ 実験・工作のキットや道具、材料等の販売
地域のイベントや地元企業との連携	① イオンモール浜松志都呂で開催の「出張!浜松科学館」に同行し、出張ショップを開催した。 ② 地元企業の商品販売・展示 祝 100 周年静岡県立「浜松西高等学校 アクリルキーホルダー」のガチャガチャ商品の販売。 陸上ホバークラフトの工作キットの販売。



業 務	内 容
オリジナル商品の開発と販売	① 蓋がバッチになる「オリジナルデザイン缶バッチキャラメル」のグッズの販売。 ② 展示リニューアルを記念して 名入り「浜松科学館スリッパ」を販売。  

(2) カフェ

① 事業方針及び営業者

来館者の利便性に配慮した飲食サービスを提供するとともに、「サイエンスライブラリー & カフェ」として、科学館職員がお勧めする図書等の配架やミニ講座の開催など、科学館事業と連携しながら運営することを目指しています。令和5年度にカフェ営業事業者を公募し選定した、浜松市内の創作イタリア料理店「kitchen KOPPE」と管理運営業務委託契約を締結し、令和6年3月14日から営業しています。カフェ営業者と科学館職員が課題や情報を共有する場として、毎月1回定例会を行っています。また、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理を遵守するよう指導し、営業者による衛生管理計画及び日々の記録を確認しています。

② 概要

項目	内 容
営業実績	営業日数 239 日 利用客数 6,412 人 
営業日	浜松科学館の休館日及び毎週火曜日(定休日)をのぞく毎日(臨時休業有)
営業時間	平日：11時から14時 土日祝日など：11時から16時(変更有)
席 数	50 席

③ メニュー

旬の食材などを使ったパスタ、キッシュ、サラダのほか、繁忙日にはカレーやテイクアウトできるお弁当を販売しました。かき氷やドリンク、ティラミスなどスイーツも提供しました。また、2月14日に初めて開催した、科学館事業「大人のための健康講座 Healthy Training & Lunch」では、サイエンスチーム職員の講義・実技の後、カフェの創作料理を提供しました。

(3) 自動販売機

利用者へのサービスのために、館内 1F に 2 台、2F に 3 台、サイエンスパークに 1 台（計 6 台）設置しています。

2. 任意の自主事業

(1) キッチンカーのフードサービス

① 事業方針

サイエンスパーク内に専用エリアを設け、浜松市公有財産管理規則（昭和 39 年規則第 30 号）第 9 条の規定に基づき、行政財産の使用許可を得て、キッチンカーのフードサービスを実施しています。土日祝日、夏休みなど多くの来館者が見込める日を対象に出店者を公募し、1 日 1 事業者を基本に出店調整をしました。出店者は、原則浜松市及び近隣地域の方で、食品衛生法に基づく営業許可を保有する事業者です。また、年 4 回開催する「みらいーら みなくる マーケット」でもキッチンカー出店者を募集しました。

② 概要

項目	内容
営業実績	Nick&Ribbon 35 日間 自家焙煎コーヒーライフ 46 日間 NaNaCafe 1 日間 G-Style Coffee 10 日間 shogaya 5 日間 JUJU de Sweets 5 日間 好日喫茶 2 日間 AMERICAN DINER OISHI 2 日間 <みらいーら みなくる マーケット> シェアザスープ、自家焙煎コーヒーライフ 7 月 15 日 シェアザスープ、からくさや 10 月 14 日 めしや縁、からくさや 12 月 22 日 めしや縁、自家焙煎コーヒーライフ 2 月 11 日
営業日	土日祝日、春休み・夏休み・冬休み、夜の科学館開催日
営業時間	11 時から概ね 15 時まで（終了時間は日によって異なる。店頭に表示）

③ メニュー

事業者	主なメニュー
Nick&Ribbon	揚げパン、フライドポテト、かき氷、綿菓子、ドリンクなど
自家焙煎コーヒーライフ	コーヒー、コーヒー豆

事業者	主なメニュー
NaNaCafe	ロングポテト、ロングチュロス、コロッケ、かき氷、ドリンクなど
G-Style Coffee	コーヒー、ジュース、かき氷など
shogaya	焼き芋、スムージー、アイスなど
JUJU de Sweets	米粉チュロス、フライドポテト、ドリンクなど
好日喫茶	サンドイッチ、スープ、おしるこ、ドリンクなど
AMERICAN DINER OISHI	ホットドッグ、かき氷、アイス、クリームソーダなど
シェアザスープ	スープ各種、豚肉料理など
からくさや	クロワッサンドーナツ、ドリンクなど
めしや縁	かつ丼ほかお料理各種

(2) プリントシール機の設置

ミュージアムショップ横に設置し、利用者の来館記念撮影の他、年間パスポート用写真撮影に活用しています。

(3) 賑わい創出のマルシェ

令和5年度からイベント名を「みらいーら みなくる マーケット」と名付けて、年間4回開催しています。

募集は、年間4回分のスケジュールを示し、公式HPやSNSで5月に実施し、屋内・屋外(10月のみ)・キッチンカーの3つの出店区分を設け、出店調整を行いました。告知は公式HP、COMPASSのほか、A5判のリーフレットを作成し、館内及び駅周辺の施設等に配架したほか、出店者にも配布し出店者自身も周知に努めました。

令和6年度は回ごとにテーマを設け、科学館展示エリア内にキーワードを掲示し、出店者とショップの利用も含めたスタンプラリーを実施し、回遊性を持たせました。ワークショップなどを通して出店者と来館者の交流も生まれ、マーケット目当ての新たな集客も見られました。

開催日	出店者
7月15日(月・祝) テーマ「COOL」	双子座文具店、くぬぎまき、Lelu-market、うずら、カエルオヤカタ、salon de M Rose、STEP たのしい工作ガレージ、coto coto、Ricco、シフォンケーキ絹、忍茶 nin-cha、シェアザスープ、自家焙煎コーヒーライフ (計13事業者)
10月14日(月・祝) テーマ「ヘルシー」	双子座文具店、ビーズのお・み・せ、きらきら教室、砂丘砂絵、ドラゴンプリンセス、STEP たのしい工作ガレージ、Wired Planet、きせかえドレスメーカー静岡店、けん玉すずき商店、シフォンケーキ絹、おやつ工房天禄、BAKE SHOP Scot、シェアザスープ、からくさや、Hara ペコ・サンド、メイプルシュガー工房 (計16事業者)
12月22日(日) テーマ「クリスマス」	Ange、くぬぎまき、らぱん工房、Mimoon、けん玉すずき商店、forest story、Diamond painting sora、aoitori_chibi_candle、シフォンケーキ絹、Nonet、からくさや、めしや縁 (計12事業者)
2月11日(火・祝) テーマ「LOVE」	ビーズのお・み・せ、つぶ屋、きらきら教室、h&n、ドラゴンプリンセス、ALO ALO、きせかえドレスメーカー静岡店、忍茶 nin-cha、自家焙煎コーヒーライフ、めしや縁 (計10事業者)



みらいーらみなくるマーケット



(4) プラネタリウム特別投映

「大人のためのオーロラナイト」 オーロラ上映&トークライブ

オーロラメッセンジャーの中垣氏を講師にお迎えし、北米やニュージーランドで撮影されたオーロラの映像の上映、映像に合わせて、撮影地の自然や撮影中のエピソードを語っていただきました。オーロラを追い求め20年余りの中垣氏の講演はオーロラの美しさだけでなく、地球の美しさも感じられるひと時となりました。中垣氏の講演は全国で行われていますが、浜松市では今回が初開催でした。今後もプラネタリウムドームの形状を生かした大空間での特別イベントを企画していきたいです。

開催日	参加者数
11月1日(金)	82名
11月2日(土)	64名

3. 自主事業の収支

(単位：円)

区分	内 容	金額（税込）	備 考
収入	ショップ売上	20,027,445円	
	プリントシール機	87,520円	売上の20%
	カフェ手数料等(外部委託業者)	1,143,005円	売上の5%+消費税、基本使用料
	飲料用自販機手数料売上	1,789,781円	売上の34～35%
	出張ショップ売上	101,453円	花博、遠鉄百貨店での出張ショップ売上収入
	マーケット売上	101,000円	マーケット出店料収入
	キッチンカー出店料	180,000円	出店料：1日あたり1,000円～2,000円
	宇宙服レンタル料	13,200円	
	自動販売機光熱費	138,252円	
	プラネ自主事業	285,000円	
	合計 A	23,866,656円	
支出	会議費	3,664円	
	旅費交通費	64,212円	
	通信費	9,900円	
	消耗品費・什器等備品費	315,463円	ショップ・マーケット消耗品
	印刷製本費	27,270円	マーケットフライヤー ほか
	光熱水料費	377,263円	カフェ・自動販売機
	行政財産目的外使用料（使用料賃借料）	1,580,809円	カフェ・ガチャ・ショップ・プリントシール機
	事業委託費	150,000円	プラネトリウム講師料
	維持管理委託費	271,150円	改札対応、年間自動更新保守契約料（ショップ物語）
	手数料	313,851円	振込手数料、キャッシュレス手数料
	商品仕入支出	11,936,631円	買取・委託商品仕入
	雑支出	16,053円	ショップ差額等
	合計 B	15,066,266	
収支差引 A-B		8,800,390円	

Ⅷ 資料

1. 2024 年度科学館入館観覧者状況
2. 2024 年度イベント・講座実施状況
3. 利用者アンケート
4. メディア取材等一覧表

【別添資料】

- ① 共同事業体による運営支援
- ② 利用者アンケート調査集計結果
- ③ ボランティアアンケート集計結果
- ④ 浜松科学館と大学・企業との事業連携アンケート結果
- ⑤ 団体利用アンケート集計結果

1. 2024 年度科学館入館観覧者状況

チケット区分				利用者数（人）	構成比	利用料金（円）	構成比
個人	常設展	有料	大人	36,034	23.2%	21,620,400	40.5%
			中人	1,315	0.8%	394,500	0.7%
			計	37,349	24.1%	22,014,900	41.2%
		無料	大人	11,832	7.6%	0	0.0%
			中小人	44,568	28.7%	0	0.0%
			計	56,400	36.3%	0	0.0%
		合計		93,749	60.4%	22,014,900	41.2%
	常設展＋ プラネタリウ ム・大型映 像	有料	大人	26,787	17.3%	29,786,900	55.8%
			中人	932	0.6%	515,100	1.0%
			計	27,719	17.9%	30,302,000	56.8%
		無料	大人	5,588	3.6%	0	0.0%
			中小人	28,105	18.1%	0	0.0%
			計	33,693	21.7%	0	0.0%
合計		61,412	39.6%	30,302,000	56.8%		
観覧券			4,588	—	1,351,000	—	
割引			—	—	△ 275,040	—	
A 個人合計				155,161	—	53,392,860	—
団体	常設展	有料	大人	259	1.5%	129,720	24.7%
			中人	93	0.5%	25,020	4.8%
			計	352	2.0%	154,740	29.5%
		無料	大人	949	5.4%	0	0.0%
			中小人	6,554	37.3%	0	0.0%
			計	7,503	42.7%	0	0.0%
		合計		7,855	44.7%	154,740	29.5%
	常設展＋ プラネタリウ ム・大型映 像	有料	大人	327	1.86%	303,490	57.8%
			中人	169	1.0%	66,820	12.7%
			計	496		370,310	
		無 料	大人	1,164	6.6%	0	0.0%
			中小人	8,046	45.8%	0	0.0%
			計	9,210	52.4%	0	0.0%
	合計		9,706	55.3%	370,310	70.5%	
	B 団体合計				17,561	—	525,050
個人・団体合計(A+B)				172,722	—	53,917,910	—
別納分				—	—	0	0

2. 2024 年度イベント・講座実施状況

イベント種別	人 数
サイエンスラボイベント	296人
サイエンスショーイベント	460人
その他イベント（館内）	6,345人
その他イベント（野外）	532人
教育機関連携事業	2,869人
共催等連携	6,889人
合 計	17,391人

（イベント内訳）

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
11月2日	サイエンスラボ	14分で科学実験 「アンモナイトのレプリカをつくろう」	21	アンモナイトの化石を拡大観察することで、アンモナイトの身体の造りの詳細や、進化や系統について学んだ。
8月11日	サイエンスラボ	しかけ絵本をつくろう	27	特別展の関連イベントとして実施。科学館の5つのゾーンをモチーフに、ポップアップやレイヤー、音が出るなど様々なしかけを使った絵本を作成した。
8月25日	サイエンスラボ	日時計をつくろう	82	日時計を作成しながら時刻が分かる仕組みを解説し、野外に出て完成した日時計で実際に時間を調べた。
11月3日,4日	サイエンスラボ	化石探し体験講座	90	夏休みに実施している化石探し体験の内容に加え、化石とは何か、化石を調べることで当時の環境を想像するなどの講義を実施し、化石の理解を深めた。
11月16日	サイエンスラボ	サツマイモで科学実験	37	サツマイモをテーマに皮に含まれるアントシアニンによる色変わり実験、内部に含まれるデンプンを用いた温度による性質の変化、酵素を使った過酸化水素の分解反応など、化学実験を実施した。
12月15日	サイエンスラボ	ロウソクゴケでキャンドル作り	16	中世ヨーロッパで蠟の染色に使われていた地衣類のロウソクゴケを用いたキャンドル作りや、野外での地衣類観察をとおして、身近な生物多様性やその恩恵を知るイベントを実施した。
1月18日	サイエンスラボ	電磁石でゆらゆらUFO	23	電磁石の仕組みについて、実際に工作を通して学んだ。
サイエンスラボイベント 計			296	

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
8月18日	サイエンスショーイベント	特別コラボサイエンスショー「バイクの科学」	150	元宝塚歌劇団の天玲美音氏をゲストに科学館の「うえちゃん」とのコラボサイエンスショーを実施し、バイクの走る原理などを分かりやすく紹介した
9月16日	サイエンスショーイベント	特別コラボサイエンスショー「シャボン玉でオノマトペ」	90	当館を会場に開催されている日本語教室とのコラボサイエンスショー「シャボン玉でオノマトペ」を実施。日本語教室に通う小・中学生とその家族を招待。ショーを楽しみながらオノマトペ（擬音語・擬態語）について学んだ。 共催：浜松国際交流協会
10月6日	サイエンスショーイベント	特別コラボサイエンスショー「サイエンスショー×ジャズ～楽器を科学する～」	220	音は波であることを楽しく分かりやすく伝えるサイエンスショーの後に、プロの演奏家によるジャズコンサートを実施した。共催：ハママツ・ジャズ・ウィーク事務局
サイエンスショーイベント 計			460	

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
4月～3月 (毎月第2金曜日)	その他	館内 夜の科学館	1,590	毎月異なるテーマを設定し、大人が楽しめるさまざまなコンテンツを用意した。 4月89人、5月112人、6月140人、7月142人、8月198人、9月97人、10月134人、11月137人、12月104人、1月130人、2月138人、3月169人
4月1日～3月31日	その他	館内 さがしてためして みらいーら2	3,866	常設展示内の5ゾーンそれぞれで問題を解きながら、観察・実験を促す仕掛けになっている。 科学館をより楽しんでもらうための親子向けのツール。冊子は1階に設置している「ゆめたまご」で販売(1冊100円) 4月311人、5月238人、6月327人、7月385人、8月656人、9月262人、10月167人、11月538人、12月163人、1月174人、2月197人、3月448人
6月2日	その他	館内 15分で展示実験 「光の波長と技術：見えない光で暗号カード」	12	オリジナルの暗号カードを自作し、光ゾーン「光の波長と技術」の展示を用いて実験した。光の波長によって性質が異なることを体感した。
6月9日,15日,16日,22日,28日,30日	その他	館内 みらいーら自由に研究ラボ (電子顕微鏡)	13	参加者が気になるものを探求するイベント。6月9日～7月7日の期間は電子顕微鏡の貸し出しを実施し、蝶の鱗粉、脊椎動物の卵(ダチョウ、エミュー、ワニ等)、血液等を観察した。
6月16日	その他	館内 無限LEDボックスを作ろう	21	LEDの光が無限に広がるように見える箱を工作した。工作の合間に、箱には合わせ鏡の原理を使っていることや、光の性質について解説した。
7月6日,7日,20日,21日,28日	その他	館内 みらいーら自由に研究ラボ (電子顕微鏡、その他実験機器)	11	参加者が気になるものを探求するイベント。6, 7日は電子顕微鏡、20, 21, 28日はその他実験機器の貸し出しを実施し、昆虫の符節、セミの翅、プラナリア、天竜川の石等を観察した。
8月3日,4日	その他	館内 みらいーら自由に研究ラボ (その他実験機器)	3	参加者が気になるものを探求するイベント。3, 4日はその他実験機器の貸し出しを実施し、花木栽培用の土壌、種子、アリ・ハチ等を観察した。
8月13日,14日	その他	館内 しかけ絵本よみかきせ	47	特別展の関連イベントとして実施。特別展の監修者である星野氏をゲストに、星野氏推薦のしかけ絵本を2日間で10冊ほど紹介した。未就学児から大人まで楽しんだ。 話者：絵本の店キルヤ 店長：星野紀子氏
10月19日	その他	館内 「みらいーら自由に研究ラボ」表彰式	13	みらいーらステージにて、自由に研究ラボで優秀な成果をまとめた参加者に「探求賞」を表彰した。
11月16日	その他	館内 でんけんラボ「サツマイモを拡大しよう！」	12	生芋と焼き芋を拡大観察・比較することで、サツマイモを生食しない理由がデンプンの熱による化学変化であることを実感した。
12月21日 ～2月28日	その他	館内 星空ワゴン	—	「これは何のかたち？自分の星座をつくってみよう」HICE日本語教室の中で実施したワークショップを、一般来館者にも自由に参加できるようにワゴンを設置。作品は、日本語教室の生徒さんの作品と一緒に、3階ホワイエに掲示。
1月～3月	その他	館内 展示解説ツアー	2	来館者に向けた展示解説を行った(1月より、毎金曜日に実施) 1月：2人
1月4日,6日,11日,13日	その他	館内 コマの科学を楽しもう	247	昨年度まで行っていた「昔あそび広場」をブラッシュアップして行った。いろいろな種類のコマや皿回しを体験した。
2月4日～16日	その他	館内 MENKA Fair 2025	500	昨年に引き続き、種取り体験、糸紡ぎのパフォーマンス、紙芝居などを実施した。期間中、特に平日には大人の参加も見られ、市民にとっては興味関心が高いテーマであると感じた。
2月14日	その他	館内 大人のための健康講座	8	大人をターゲットとした企画で、まず進化の話からヒトの体について理解を深め、実際にエクササイズを行った。ランチにはキッチンコップとも連携し、「健康ランチ」を提供した。
その他イベント 小計		館内	6,345	

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
7月15日	その他	野外 「むし」を捕まえて観察しよう	2	サイエンスパークで昆虫を採集し、1匹1匹をじっくりと観察しながら図鑑で種名を調べた。市街地にも多くの昆虫がいることや、分類する上での重要な形質を体感した。
9月16日	その他	野外 浜松シャボン玉フェス2024	450	サイエンスパーク内にシャボン玉溶液と、様々な形状の枠を用意し、のびのびとシャボン玉を楽しんだ。
9月16日	その他	野外 みらいーら直伝！シャボン玉液作り	80	科学館のシャボン玉作りレシピでシャボン玉液を作った。フェスイベントとともに博物館実習の実習生が積極的に運営に参加した。
その他イベント 小計		野外	532	

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
5月30日	教育機関連携	専門学校ルネサンス・ベッ・アカデミー 浜松校特別講座	19	将来、水族館や動物園へ就職希望する学生たちを対象に、教育普及施設での学芸員の仕事内容や科学館での生物多様性とかかわりを教授した。
6月21日	教育機関連携	出張プログラム	49	市内の外国人学校ムント・デ・アレグリア学校にて出張プログラムを実施。7～9年生（中学1年～3年）それぞれの授業時間を使って、「電気」の実験を行った。（7年生18人、8年生17人、9年生14人）
7月6日	教育機関連携	静岡大学グリーンサイエンスカフェ 「生成AIってなに？」	53	AIとは何なのか、どういう仕組みででき、何ができるのかを講義形式で紹介した。 共催：静岡大学 グリーン科学技術研究所
7月30日,31日	教育機関連携	職場体験	2	静岡サレジオ中学校
8月1日	教育機関連携	浜松市 生活科研究部研修会	115	浜松市の生活科研究部研修会において、「生活科の授業で使えるおもちゃづくり」と題した研修会の講師として参加した。
8月10日	教育機関連携	わくわくサイエンスラボ	97	常葉大学の教育学部生がスタッフとなり、色の実験や工作、ラジオを使った電波の体験などを実施した。共催：常葉大学、中部科学技術センター
8月20日	教育機関連携	教員のための博物館の日	60	科学館に親しみを持ってもらい、学習資源としての科学館を周知することを目的に、教員を対象に科学館の利用方法を詳しく紹介した。 共催：国立科学博物館、公益財団法人日本博物館協会 後援：文部科学省
9月	教育機関連携	職場体験	9	10,11日：ムント・デ・アレグリア学校（高校1年生）4人 12,13日：浜松市立曳馬中学校 5人
9月11日～21日	教育機関連携	博物館実習	7	科学館の展示物調査、プラネタリウム研修、サイエンスショー研修など学芸員に必要な技能を学び、成果発表として、秋の味覚をテーマにしたハンズオン形式で楽しめる展示物を作成し、実習生が中心となって運営を出口ゲート付近で実施した。
9月12日～18日	教育機関連携	理科自由研究作品展	2,296	市内小中学校の理科の自由研究で優秀な作品を展示した。自由に研究テーマや、自由研究の質問をとおして科学館と関わりのある子供たちの作品も多数展示された。 共催：浜松市教育研究会理科研究部
9月20日	教育機関連携	出張プログラム	6	浜松特別支援学校磐田分校でベクトルロケットを使った「空気」について学習するプログラムを実施した。4年生3人、5年生3人（計6人）
10月	教育機関連携	職場体験	47	8,9日：浜松市立観塚中学校 15人 16,17日：浜松中部学園 中等部 2人 17,18日：浜松中部学園 中等部 10人 22,23日：浜松市立与進中学校 5人 23,24日：浜松市立八幡中学校 5人 31,1日：浜松市立西部中学校 10人
11月	教育機関連携	職場体験	55	8,9日：浜松市立富塚中学校 4人 14,15日：浜松市立積志中学校 16人 17,18日：浜松中部学園 中等部 10人 19日：浜松市立南部中学校 7人 19,20日：浜松市立天竜中学校 3人 20,21日：浜松市立南陽中学校 9人 21,22日：浜松市立北部中学校 2人、浜松市立湖東中学校 4人
11月7,8日	教育機関連携	総合学習	13	浜松市立富塚中学校1年生の総合学習「ふると浜松を見つめる」で、3グループ（計13人）が別々に来館。科学館に関することや職員の業務内容など、各グループからの質問に個別に回答した。
11月21日	教育機関連携	新規採用教員研修	38	浜松市教育センター主催の、本年度新規採用された教職員の研修。上野CEが講師を務め、館内案内（展示ストーリーブックに沿った展示解説）と、簡単な工作体験のレクチャー、浜松科学館の遠足での利用について紹介した。本年度で3回目となり、毎回大好評である。
12月	教育機関連携	職場体験	3	4日：浜松西高等学校中等部 3人
教育機関連携事業 計			2,869	

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
4月20日, 21日	共催等連携	ロボットまつり	220	共催：ロボットゆうえんち
4月27日 ～5月16日	共催等連携	愛鳥週間写真展「身近で気になる野鳥ランキングBest50」	—	協力：浜松野鳥の会
4月6日	共催等連携	茶歌舞伎（利き茶）を体験しよう	11	春の特別展開連イベントとして実施 共催：有限会社村松商店 店長 村松正浩氏
4月13日	共催等連携	花粉症対策やらまいか！－無花粉スギ研究の最前線－	15	春の特別展開連イベントとして実施 講師：静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター 森林資源利用科長 袴田哲司氏

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
4月14日	共催等連携	フラワーパークのおもしろ植物	30	春の特別展関連イベントとして実施 講師：はままつフラワーパーク パーク管理課長 和久田 均氏
4月21日	共催等連携	はまZOOの獣医さん	70	春の特別展関連イベントとして実施 講師：浜松市動物園 主任 白澤純一氏
4月27日	共催等連携	子ども採蜜体験教室	39	春の特別展関連イベントとして実施 共催：株式会社長坂養蜂場
4月28日	共催等連携	うなもとと一緒にうなぎいもスイートポテトを作ろう	53	春の特別展関連イベントとして実施 共催：うなぎいも協同組合
4月29日	共催等連携	ウナギのタッチプール	296	春の特別展関連イベントとして実施 共催：浜名湖体験学習施設ウォット
5月11日,12日	共催等連携	ロボットまつり	70	自作のロボットを操縦して競う大会へ向けた作成指導の他、メカモグラ・ビッグコースチャレンジ&トーナメント、室内ドローン操縦体験を実施。共催：ロボットゆうえんち
6月15日 ～9月1日	共催等連携	みらいーらブックセレクション展	39	市内の小・中学生を対象に、その人に読んでほしい1冊をスタッフが選書し、贈呈。当選者の読後のメッセージとスタッフのメッセージを本とともにライブラリーに展示した。6月16日には浜松ロータリークラブ副会長が出席し、記念品贈呈式をみらいーらステージで行った。(6/15～記念品贈呈18人、6/16記念品贈呈式出席7人※家族15人) 共催：浜松ロータリークラブ
6月8日,9日,29日 30日	共催等連携	ロボットまつり	299	自作のロボットを操縦して競う大会へ向けた作成指導の他、メカモグラ・ビッグコースチャレンジ&トーナメント、室内ドローン操縦体験を実施。共催：ロボットゆうえんち
6月23日	共催等連携	もっと知りたい音のはなし	205	みらいーらステージに様々な楽器や実験機器を持ち込み、スライドを用いた解説を実際に楽器や実験機器を鳴らしながら行い、音の原理や騒音に対する注意点などを紹介した。 共催：ヤマハ株式会社
7月7日	教育機関連携	Hamamatsu Micro Maker Fair 2024	1,200	遠州地域のクリエイターが、デジタルアプリケーションを用いた、ものづくりの成果を情報共有する場を創出した。今年は特に「音」に関連したブース出展や演奏会を実施した。 共催：FabLab Hamamatsu/TAKE-SPACE 株式会社オライリー・ジャパン
7月28日	共催等連携	まちなか天体観望会	256	太陽望遠鏡などを用いて、サイエンスパークにて太陽の観望会を行った。共催：浜松市天文台
8月6日～8日	共催等連携	化石探し体験！	841	数十万年前の岩石を割り、そこに含まれる木の葉や昆虫の化石を探すイベント。木の葉の化石は樹種を特定し当時の環境について考察した。共催：山崎自然教育振興会
8月21日～23日	共催等連携	ローランドDGのUVプリンターで君だけのオリジナル時計をつくろう！	61	AIを用いたオリジナルのイラストを作成、UVプリンターで文字盤にプリントし、時計を組み立てた。共催：Roland DG株式会社
9月21日,22日	共催等連携	特別コラボ「鉄道サイエンスショー×JR東海踏切安全教室」	550	JR東海の協力によりみらいーらステージに踏切セットの実物を設置。踏切の仕組み・安全性をクイズとともに紹介し、非常ボタンに触れるなど特別な体験を提供した。共催：JR東海
9月21日	共催等連携	第5回発明くふうコンテスト審査発表会	31	市内小中学校から発明くふう作品を応募し、1次審査を通過した子供たちを対象に実演審査を実施した。あらかじめ撮影した解説動画と作者による質疑応答を実施した。共催：浜松経済クラブ
9月21日～29日	共催等連携	第5回浜松市小・中学生「発明くふうコンテスト」優秀作展示	1,126	1次審査を通過した発明くふう作品を展示した。会場内に子供たちが作品の内容を説明する動画を投影した。共催：浜松経済クラブ
9月28日,29日	共催等連携	発明とアイデア展	475	浜松発明研究会が作成した作品を展示し、会員による使い方の説明や発明作品を作るコツなどをレクチャーした。共催：浜松発明研究会
10月27日	共催等連携	第9回小・中学生 理科研究プレゼンテーションコンテスト	245	市内小中学生による自由研究のポスター発表および口頭発表を行い、表彰式を開催した。(発表者47人) 主催：トップガン教育システム協議会
11月4日	共催等連携	H3ロケット打ち上げパブリックビューイング	60	JAXA配信のロケット打ち上げのライブビューイングをみらいーらステージに投映しながら、当館スタッフがその様子を分かりやすく紹介した。
11月8日	共催等連携	特別展示解説「伊場遺跡出土木製鎧」	40	浜松市博物館と科学館が共同で科学的な調査をした伊場遺跡から出土した弥生時代の木製鎧を、夜の科学館で展示し、浜松市博物館の鈴木館長が解説をした。協力：浜松市博物館
11月9日	共催等連携	第5回浜松市小・中学生発明くふうコンテスト表彰式	22	発明くふうコンテストに応募された作品の内、優れた作品について22名を表彰した。共催：浜松経済クラブ
12月1日	共催等連携	出版記念講演「タムシの翅はなぜ輝いているのか」	34	2023年の新刊をテーマに、身近な疑問を突き詰めていく科学的な考え方、おもしろさを伝えた。演者：針山孝彦（浜松医科大学 特命研究教授） 共催：化学同人
12月14日	共催等連携	第12回「MATHやらいいか」決勝大会	134	トップガン教育システム協議会主催の「MATHやらいいか」決勝大会に、会場を提供した。(競技者：29人)
12月19日	共催等連携	「やさしい日本語でプラネタリウム」事前授業	22	1月13日に実施する「やさしい日本語でプラネタリウム」の事前授業をHICE日本語教室の時間をお借りして実施した。前半は日本語教師による天文に関係する語彙の授業と自分の星座を紹介するワーク、後半は投映を担当する天文チーム職員（島田）によるワークショップ「これは何のかたち？自分の星座をつくってみよう」を実施した。作品は3階ホワイエに掲示。
1月13日	共催等連携	やさしい日本語でプラネタリウム	77	浜松市の事業である「次世代のための日本語教室」の冬季イベントとして、閉館後の特別投映「やさしい日本語でプラネタリウム」を実施した。参加者：77人（うち外国につながる方約50人） 協力：浜松国際交流協会（HICE）
1月26日	共催等連携	青色LEDを使った電子楽器PBトーンを作って演奏しよう！	15	共催：日本ソーラービークル協会「笑輪」実行委員会、浜松楽器博物館 前半は電子工作（ハンダ付けは不使用）を行い、後半は作った楽器で演奏会を行った。高校生が主となり、指導を行った。

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
2月21日	共催等連携	まちなか天体観察会	214	アクト通りにて、天体観察会を実施した。当日は、金星、木星、火星を中心に望遠鏡で観察し、肉眼にてオリオン座や冬の三大角などの観察を行った。 共催：浜松市天文台
3月1日～31日	共催等連携	みらいーらブックセレクション展	39	市内の小・中学生を対象に、その人に読んでほしい1冊をスタッフが選書し、贈呈。当選者の読後のメッセージとスタッフのメッセージを本とともにライブラリーに展示した。6月16日には浜松ロータリークラブ副会長が出席し、記念品贈呈式をみらいーらステージで行った。（6/15～記念品贈呈18人、6/16記念品贈呈式出席7人※家族15人） 共催：浜松ロータリークラブ
3月24日	共催等連携	春の特別展関連イベント「東海道新幹線おしごとずかん」	100	特別展関連イベントとして実施した。 浜松駅駅長、浜松工場副工場長、浜松保線所所長、 浜松レールセンター所長、浜松電気技術センター センター長の5名による業務の紹介と、来館者から寄せられた質問について答えるトークショーを開催した。
共催等連携イベント 小計			6,889	

3. 利用者アンケート集計結果

実施期間：2024年4月1日～2025年3月31日 回答数：584件

（詳細は別添資料を参照）

当館への意見やご要望を踏まえた主な対応事例

- ・「夜の科学館」開催日についてのご要望
→2025年度は、6月を第2土曜日開催としました。皆様の反応をお伺いしながら、下半期（10～3月）の日程を決定してまいります。
- ・事前申し込み制ワークショップが定員割れしていた際の当日受付について
→一部の事前申し込み制イベントでは、定員割れの際は当日受付を行うようにしております。ウェブサイト・SNS等でのお知らせを随時行ってまいります。

4. メディア取材等一覧表

掲載(放送)日	メディア名	詳細	取材内容
4月 5日	浜松ケーブルテレビ		春の特別展「浜松ミクロ散歩」
4月 5日	読売新聞	朝刊	夜の科学館2024 (4月)
4月	東愛知新聞		春の特別展「浜松ミクロ散歩」 など
4月 19日	読売新聞	朝刊	春の特別展「浜松ミクロ散歩」
4月 23日	浜松ケーブルテレビ		ロボットまつり in 浜松科学館
5月 7日	浜松市子育て情報サイトびっぴ	子連れで出かけ	さがしてためしてみらいーら3
5月 11日	FM Haro	はままつ案内所	ボランティアの募集について
5月 24日	eらっこ	6月号	常設展、大型映像「すみっこぐらし」、プラネタリウム、カフェ
6月 9日	静岡新聞		ロボットまつり in 浜松科学館
6月 10日	スズキ労働組合 機関誌「Su-ing」	6月号	プラネタリウム「七夕まつり」
6月 10日	読売新聞	朝刊	プラネタリウム「七夕まつり」
6月 14日	浜松ケーブルテレビ	ウィンディニュースさんちよく！	ロボットまつり in 浜松科学館
6月 17日	中日新聞		みらいーらブックセレクション 記念品贈呈式
6月 18日	SBSテレビ	soleいいね！	常設展、サイエンスショー、ミニワーク、ミュージアムショップ (生放送)
6月 20日	静岡新聞		みらいーらブックセレクション 記念品贈呈式
6月 25日	NHKしずおか	たっぶり静岡	浜松市学校ボランティア技術研修会
6月 30日	浜松ケーブルテレビ	ウィンディニュースさんちよく！	浜松市学校ボランティア技術研修会
7月 13日	FM Haro	はままつ案内所	夏の特別展「しかけ絵本でサイエンス！」
7月 19日	読売新聞	朝刊	夏の特別展「しかけ絵本でサイエンス！」
7月 27日	浜松経済新聞		浜松まちなか科学館 in 通鉄百貨店
8月 22日	浜松ケーブルテレビ	ウィンディニュースさんちよく！	こども110番の家 広報
8月 15日	静岡新聞		夏の特別展「しかけ絵本でサイエンス！」 (読み聞かせ)
8月 22日	静岡新聞		ローランドD.Gワークショップ
8月 20日	静岡新聞		特別コラボサイエンスショー「バイクの科学」
9月 13日	中日新聞		理科自由研究作品展
9月 14日	FM Haro	はままつ案内所	プラネタリウム「月がきれいな夜に話したい3つのこと」
9月 18日	静岡新聞		理科自由研究作品展
9月 19日	静岡新聞		特別サイエンスショー「シャボン玉でオノマトペ」
9月 19日	浜松ケーブルテレビ	ウィンディニュースさんちよく！	プラネタリウム「月がきれいな夜に話したい3つのこと」
9月 22日	静岡新聞		特別コラボ「鉄道サイエンスショー×JR東海路切安全教室」
9月 22日	中日新聞		特別コラボ「鉄道サイエンスショー×JR東海路切安全教室」
9月 23日	K-mix	モーニングラジラ	マスタートーク (小粥)
9月 27日	テレビ静岡	wasabee	プラネタリウム「月がきれいな夜に話したい3つのこと」
10月 7日	静岡新聞		サイエンスショー×ジャズ～楽器を科学する～
10月 9日	まっぶる 静岡	浜名湖 富士山麓 伊豆 '25	常設展、プラネタリウム
10月 22日	たびらい		常設展、プラネタリウム
10月 28日	アットエス		大人向けコスプレ体験スポット (宇宙服レンタル)
10月 29日	SBSテレビ	LIVEしずおか	伊場遺跡木製よろいに関する共同調査、夜の科学館 (11月)
10月 29日	NHK	たっぶり静岡	伊場遺跡木製よろいに関する共同調査、夜の科学館 (11月)
10月 30日	静岡新聞		伊場遺跡木製よろいに関する共同調査、夜の科学館 (11月)
10月 30日	中日新聞		伊場遺跡木製よろいに関する共同調査、夜の科学館 (11月)
10月 31日	Net de びぶれ		夜の科学館 (11月)
11月 6日	朝日新聞		伊場遺跡木製よろいに関する共同調査、夜の科学館 (11月)
11月 9日	FM Haro	はままつ案内所	まちなか天体観望会 in アクト通り
11月 8日	読売新聞	朝刊 イベント情報	夜の科学館 (11月)
11月 8日	毎日新聞		伊場遺跡木製よろいに関する共同調査、夜の科学館 (11月)
11月 15日	読売新聞	朝刊	プラネタリウム「月がきれいな夜に話したい3つのこと」
11月	日経新聞		河合楽器ラッピングピアノ ホームコンサート
11月 21日	静岡新聞		浜松市発明くふうコンテスト 表彰式
11月 23日	静岡新聞		河合楽器ラッピングピアノ ホームコンサート
12月 4日	浜松市子育て情報サイト びっぴ		子どもと行ける公共施設
12月 8日	むすびめ		夜の科学館 (12月)
12月 14日	むすびめ		河合楽器ラッピングピアノ
12月 19日	中日新聞		河合楽器ラッピングピアノ
12月 28日	東海じゃらん	2025年2月号	常設展、プラネタリウム
12月	くふうロコしずおか		施設紹介

掲載(放送)日	メディア名	詳細	取材内容
1月 11日	FM Haro	はまつ案内所	冬の企画展「みんなで熱中！ものづくり2024」
1月 27日	アットエス		みらいーらみなるマーケット（2月）
1月 23日	静岡新聞びぶれ	2025年1月23日号Vol.811	夜の科学館（2月）
1月 27日	読売新聞		やさしい日本語でプラネタリウム
1月 30日	Newsがわかる 特別編		アルミニウム特集（科学館外観のアルミパネル）
1月 31日	中日新聞		サーエナジー協力展示 公開記念セレモニー
1月 31日	読売新聞	朝刊	イベント情報「MENKA Fair」
2月 3日	NAVERブログ「毎月旅立つアジア旅行記」		常設展、プラネタリウム
2月 4日	NHKしずおか	たっぷり静岡	チェック防災（過去の総集編）
2月 5日	中日新聞		MENKA Fair2025
2月 6日	浜松経済新聞		MENKA Fair2025
2月 7日	読売新聞	朝刊	イベント情報「夜の科学館（2月）」
2月 26日	K-mix	GOOD-TIE	春の特別展「東海道新幹線ずかん」
2月 28日	浜松・浜名湖 やらまいか Tourism		夜の科学館（3月）
3月 5日	中日新聞		春の特別展「東海道新幹線ずかん」
3月 7日	SBSテレビ	soleいいね！	春の特別展「東海道新幹線ずかん」
3月 8日	FM Haro	はまつ案内所	春の特別展「東海道新幹線ずかん」
3月 13日	るるぶ浜松 浜名湖 三河 26		常設展、プラネタリウム
3月 17日	ハローナビ静岡Blog	静岡県浜松駅周辺のおススメ体験12選！	常設展、プラネタリウム
3月 16日	浜松経済新聞		春の特別展「東海道新幹線ずかん」
3月 15日	SBSテレビ	静岡新聞ニュース	春の特別展「東海道新幹線ずかん」
3月 7日	浜松・浜名湖 やらまいか Tourism		春の特別展「東海道新幹線ずかん」
3月 20日	静岡新聞びぶれ		館内一部リニューアル（第一期）
3月 20日	SBSテレビ	LIVEしずおか	館内一部リニューアル（第一期）記念セレモニー
3月 21日	静岡新聞		館内一部リニューアル（第一期）記念セレモニー
3月 28日	浜松経済新聞		館内一部リニューアル（第一期）
3月 28日	SBSラジオ	公開生放送「上田朋子のGoing MY WE	館内一部リニューアル（第一期）、春の特別展「東海道新幹線ずかん」

IX 指定管理者による自己評価

“浜松科学館は、科学を入り口とした多様な文化交流を通して人々をつなぎ、地域への誇りと愛着をもとに、創造都市を牽引する科学館となることを目指します。さらに、誰もが科学を楽しみ、安心して学ぶことができ、ひとりひとりの好奇心を育む場として地域に開かれた科学館となります。”（浜松科学館第2次中期計画の使命）

浜松科学館指定管理者は、上記の使命（ミッション）と下記の4つの事業目標に基づいて、各年度の実施計画（事業計画）を作成し、日々の管理運営に取り組んでいます。運営課題の解決や成果の検証は、自己点検として『セルフモニタリング報告書』（月次・四半期）に取りまとめて浜松市所管課へ提出し、設置者と緊密に情報を共有するよう努めています。年度ごとの事業報告書に基づいて、浜松科学館運営委員会による外部評価の場を設け、スタッフの説明に対して委員から様々な指摘や助言を直接いただき、より良い運営を目指してスタッフのエンパワーメントを重視した取り組みを行っています。このようにPDCAマネジメントサイクルを念頭に、事業の成果を客観的に検証し、公正な評価を行うことで、スタッフの能力やモチベーションを高め、組織全体のパフォーマンスを向上させます。専門性が高い半面、市民へのきめ細かなサービスが求められる職務であるため、マネジメントでは人材資本の観点から、権限の委譲、チーム間のコミュニケーションの強化、ワークライフバランスの向上等の施策に留意しています。

以下、第2次中期計画の4つの事業目標に基づくマネジメントの要点と自己評価を記します。

【事業目標1】 創発的な学びの場を構築

1.1 常設展示室内での体験価値の向上

前年度に引き続き、利用者起点で体験価値を高めることを目指し、感動や長期的記憶に結びつく「学びの楽しさ」や「交流の喜び」を実感できるよう、日報や現場での振り返りでプログラムの検証と改善に努めています。常設展示を快適に利用できるようにするだけでなく、スタッフが提供する体験機会を増やすことで利用者増などの定量的な成果を目安としつつ、参加者との一体感やライブ感を高めて、「今、ここでしか体験できない」という体験の希少性を追求し、短時間のうちにも凝縮した内容としています。

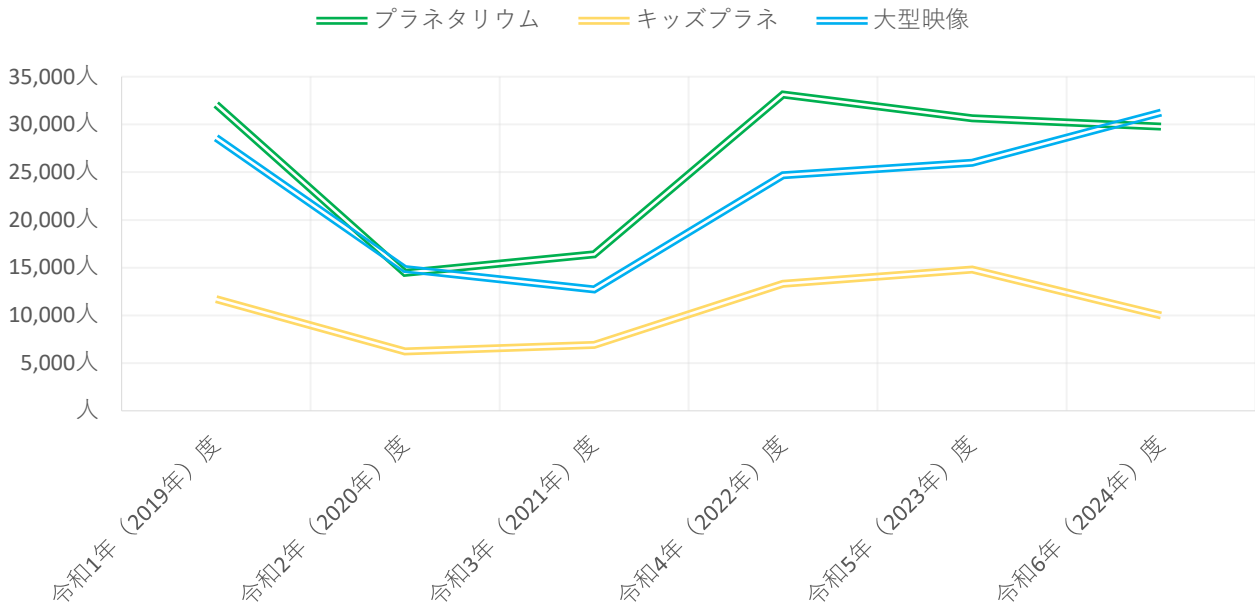
サイエンスショーは、年間約1,500回実施し、約5万人が参加、常設展入場者の30%が体験する中核プログラムとなっています。ミニワークショップは、毎日実施して約1万人が参加、常設展入場者の6%が体験しています。また、アクティブ展示解説が5千人、「さがしてためしてみらいーら」が4千人弱と、常時体験できるプログラムのバリエーションが豊かなことで、繰り返し利用者（リピーター）が飽きずに楽しめる工夫を凝らしています。

1.2 プラネタリウムでの感動体験

プラネタリウム・大型映像観覧者の観覧者総数は79,843人で、リニューアル直後の2022年度（82,522人）、2023年度（81,861人）からやや減少しているものの、常設展示入場者に対する観覧率は46%で、前年度とほぼ変わらず高い人気を保っています。生解説主体のプラネタリウムは、リニューアル以降高い水準で推移していますが、2024年度はキッズプラネタリウムが前年度から5千人弱減少した半面、大型映像がほぼ同数増加してプラネタリウム観覧者と逆転する結果となりました。本年度の大型映像のコンテンツがキッズプラネの対象年齢層と被ったため、トレードオフが発生したものとみられます。

年度当初から天文チームの体制が大きく変わった中で、生解説の充実に注力してプラネタリウム観覧者数を保ち、星空を楽しむ固定ファンを作るという従来の目標を維持することができましたが、大型映像の上映時間、作品選定、他のコンテンツとの競合回避などの課題に対し、次年度には新たな取り組みを開始します。

番組別観覧者数



1.3 常設展示更新事業

常設展示更新業務（第1期）の実施設計、製作・施工を完了し、3月20日オープニングセレモニーを実施しました。展示更新のビジョン＜自由に楽しみ、「面白そう」があふれる広場＞を目指して、運営スタッフと設置者、設計者を交えたプロジェクト会議を定例的に実施し、展示製作と内装施工は市内業者に委託して緊密な実行体制を築けたことが大きな成果です。授乳室、ボランティアルームの新設とサインの更新でアメニティーの充実が図られたことは、利用者から好意的に受け止められており、科学館のブランディングに寄与しているものと考えます。新たに誕生した「みらいーらルーム」とワゴンを活用した運営プログラムの拡充が課題ですが、今後、展示評価により成果を検証します。

また、インクルーシブデザインワークショップを通じてリードユーザーとの協力関係ができ、DE&Iの取り組みにも着手しましたが、今後は、専門団体や学術機関との連携を通じて徐々に進展させていく必要があります。また、ホームページのリニューアルに合わせて情報アクセシビリティの検証も行いましたが、アップデートのタイミングで Web アクセシビリティの各項目（WCAG など）に沿うことができるよう、目標を立てて進めていきたいと考えます。

【事業目標2】 地域に開かれ、市民に愛される科学館づくり

2.1 オリジナルコンテンツの独創性

科学館ではほとんどのプログラムを内製していますが、特に特別展・企画展は、すべてスタッフが企画・制作にコミットすることで、地域や身近なことを楽しみながら、科学の面白さを追求する独自のコンテンツを目指しています。夏の特別展

では、しかけ絵本を自由に手に取るだけでなく、仕組みを科学的に学べるようにし、読み聞かせやワークショップで自作することでしかけ絵本の面白さを体験できました。冬の企画展では手作りロケットで参加者同士が競いながら学びあうことで、スタッフと利用者がともに学びの場を作るという価値に重点を置きました。施設価値が市民の文化・学習体験と結びついた思い出となり、地域への愛着を生み出すきっかけとなることを狙いとしています。

プラネタリウムでは、解説員の個性を重視した星空解説に加え、気軽に宇宙や天文の生解説に触れられる「星空マルシェ」を開始したほか、「やさしい日本語でプラネタリウム」では、今まで科学館を利用したことのない方々に向けた取り組みとなり、参加者から大きな期待を寄せられています。

5年目を迎えた「夜の科学館」は、毎月、新たなテーマを設定して全フロアで展開しました。プラネタリウム投映をはじめ、サイエンスショー、でんけんラボ、ミニワーク、展示ガイド、ショップ等を組み合わせて、大人がゆつくりと楽しめる時間を提供してきましたが、コアなリピーターを得ている一方、さらなる進化を求める声もいただいています。

2.2 教育機関との連携

幼年期から児童期の科学館体験が、後々の施設への親近感や訪問動機に大きく影響するといわれています。このため、学校、幼稚園・保育園等の団体利用の促進に努め、科学館ニューズレター「COMPASS」やフライヤーの配布、市内外の校長会・理科学研究部会等でのPR活動に精力的に取り組んでいます。プラネタリウム学習投映では、市内全小学校のパノラマ風景が投映でき、児童の学習意欲が高まったという評価も得ています。浜松市新規採用教職員研修、教育研究会理科部会研修会、生涯学習施設職員およびボランティアのための実技研修会、中学生の職場体験活動、大学生の博物館実習等、可能な限り教育機関との連携を拡張できるよう努めました。一方、次年度から浜松市内公立校の情報がデジタル配信となり、科学館広報紙の配布ができなくなることへの対応が課題となります。

2.3 ボランティア活動の拡充

市民が科学館のパートナーとして活動し、利用者と共に科学を楽しむ文化の創造を目指しています。ボランティア登録者は68人（前年度48人）で、うち41人（同28人）が中学生・高校生のジュニアボランティアとなります。成人のボランティアでは、自主イベント「Mite Mite」の企画・運営や自然観察園の手入れ・観察等の独自のプログラムの実施やミニワークショップの運営補助、研修会の実施等を通して、スタッフとの協働がより一層進展しました。活動日数は延べ150日間（年間開館日の48%）で、前年度130日（同41%）よりも増加しました。また、地震防災避難訓練への参加等、安全管理や安心して暮らせる街づくりに貢献していきます。

ボランティアへのアンケート調査からは、「充実感を味わえた」（一般83%・ジュニア97%）をはじめ、活動の充実度や世代間交流が高く評価されました。さらに、第3次中期計画作成のワークショップに科学館スタッフと共に参加するなど、ボランティアが科学館の運営に関わっていく取り組みも始まっています。

【事業目標3】 協働による新たな視点の提供と地域固有の価値向上

3.1 地域の様々な主体との連携

「浜名湖花博2024」では、実行委員会と連携協定を締結し、生解説プラネタリウム番組「花と星めぐり」の特別投映、花博PR動画投映、ガーデンパーク会場でのPR（タイムトンネルの星座展示協力）、入場チケットの販売等を通じて観光を起点とした地域の大型イベントで積極的に役割を果たしました。

従来の浜松市天文台との連携を進める一方、新たに浜松市博物館の資料調査に協力するなど、市内の社会教育施設との連携も進めています。

東海旅客鉄道株式会社（JR 東海）の特別協力で実現できた春の特別展では、東海道新幹線 60 周年の歴史を物語る貴重な実物資料や関連資料・情報を展示して、我が国を代表する高速鉄道の開発や維持管理等の多角的な紹介を行うことができました。

多文化共生への新たな取り組みとして、浜松国際文化交流協会（HICE）主催の「次世代のための日本語教室」に通年で会場を提供し、夏と冬に連携イベントを実施するなど、多様なルーツを持つ子どもたちの学びを支援しました。

3.2 ユーザー・エクスペリエンス（UX）の価値向上

科学館を利用する一連のプロセスの各段階で適切な情報発信を行い、利用者の体験価値の向上に努めました。施設ブランディングを意図したニューズレター等の広報物を内製し、科学館で事業に携わるスタッフの人物像が伝わるような発信を継続することで、利用者が科学館への親しみや公共施設としての安心感・信頼感を抱き、支援したい気持ちや来館意欲の向上につながるよう努めています。特に、各イベント実施のタイミングで動画や画像を SNS や Web サイトにアップして、内容やイメージの拡散を図っています。さらに組織的にユーザー・エクスペリエンスの価値を高めるため、受付や電話対応等のバックヤード業務で各スタッフが丁寧な対応に努め、エントランスホールでのコエルジュサービスにより、市民やステークホルダーとの良好なコミュニケーション機会を増やし、様々な場面での関係構築を進めました。

【事業目標 4】 持続可能性の向上を目指した適正なマネジメント

4.1 第 3 次中期計画の作成とマネジメントサイクル

第 1 次～第 2 次中期計画に基づく管理運営の成果を受け、次期 4 年間（令和 7 年度～令和 10 年度）を計画期間とする第 3 次中期計画を作成しました。科学館スタッフ、ボランティア、設置者を交えたグループワークにより、全体で 10 年間の長期的目標からバックキャストした新たなビジョンの実現に向け、戦略的な方策を提示しました。計画には、ゴールへの道程を検証する評価軸と指標をあらかじめ設定しておくことで、状況へ柔軟に対応し、成果や改善点を次のステップに生かす工夫をしています。また、前年秋の博物館登録と中期計画の策定を機に、浜松科学館運営委員会の構成を見直し、市民（ボランティア）を委員に加えて科学館の運営を共に考えていくパートナーに位置付けることとしました。

4.2 博物館登録

令和 5 年（2023 年）4 月 1 日に施行された改正博物館法に基づき登録申請を行い、2024 年 10 月に登録認定を受けることができました。これは、2017 年の文化芸術基本法の改正と、2019 年の ICOM（国際博物館会議）京都大会において、「文化をつなぐミュージアム」として、博物館を文化観光、まちづくり、社会包摂など社会的・地域的課題と向き合うための場に位置づけられたことが背景にあります。浜松科学館は従来、博物館類似施設の位置づけでしたが、今回の登録により、科学館と自治体、学校、社会教育施設などの関係機関・民間団体が相互に連携を図るよう努めることが規定され、地域の活力の向上に寄与する役割を期待されることとなります。

第 3 次中期計画では、新たな博物館像で求められている学びの多様化や地域との共創等に運営の目標を置くこととしました。

4.3 危機管理対応訓練

科学館では年2回、休館日に避難誘導訓練と防災研修会を実施していますが、火災時の避難誘導訓練に加えて、大規模地震災害を想定した訓練にも取り組んでいます。スタッフが携行するアクション・カードに基づき、実際に震災時のシミュレーションを行い、実効性の高い訓練を実施することで、協力会社を含む従事者の防災意識を高めることに努めています。

4.4 サポーター会員制度

科学館の事業に賛同し支援をいただくため、地域の企業・団体等を対象にサポーター会員を募る活動に取り組んでいます。54社（64口）からいただいた会費は、既存の科学館事業を更に拡充させる際の追加活動資金に充てるとし、特別展や夜の科学館、各種講座・ワークショップの実施経費、プラネタリウムや大型映像の番組制作・上映費用の一部に充当しました。

令和 6 年度浜松科学館指定管理業務事業報告書

令和 7 年 5 月

浜松科学館指定管理者

乃村工藝社・S B S プロモーション共同事業体

〒430-0923 浜松市中央区北寺島町 256 番地の 3

Tel.053-454-0178 Fax.053-454-0184

info@mirai-ra.jp